京城日報

二十日夕刊
本紙定價 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓 一ヶ年金六圓
京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 樋口政太郎
發行所 合資會社 京城日報社

歐洲大戰亂

▲愈獨墺軍希臘侵入乎

雅典來電は獨墺軍は來週末を以て愈々希臘侵入を實行す可き氣勢を示しつゝあるを報せり（倫敦電報）

▲米國對墺第二回抗議

米國政府は墺國政府に對しアンコナ號擊沈問題に關し第二回抗議を送る事に決したるも内容は簡單直截にして頗る鋭き語調を帶べり是より先き墺國が米國に出したる回答は十八日發表せられたるが内容は前報の通りなり（紐育電報）

○花井副議長辭表提出

内閣彈劾案に賛成したる爲め與黨の結束に甚大の影響あり

衆議院副議長花井卓藏氏は十八日衆議院散會後岡崎書記官長の手許まで辭表を提出せり其の理由は元來與黨三派より推されて副議長の椅子に就きたるに十八日林毅陸氏提出の彈劾案に賛成したるを以て爾後の立場に顧み辭表を提出したる次第なり（東京特電）

雜報

●即位三月末か

五國公使の對支共同宣言は極めて輕き意味の注意的勸告に過ぎず之に對し陸外交部總長は前回通り曖昧なる挨拶をなし何等要領を得る所なく袁總統も五國の通告に對し或期間帝政實現を延期し世間傳說の如く一月匆々皇位に即くが如きこと無かるべく要するに日本の今後の態度如何によりて自から定まるべしも今次の宣言につき支那は五國間の交渉及び其の裏面消息を知悉し居れば結局三月末國體變更を斷行し同時に袁總統は皇位に登るべし（北京）

●大典籌備繁忙

大典籌備所は帝政の實施決定と共に日に繁忙を加へつゝあり各科主任より草案を提出しては總纂員に於て取纏めつゝあり近日大會を開きて決定するの運びとなり居れるが既定議案は左の如しと（北京）

▲禮制科提出の分
一、朝賀禮節の規定　二、朝賀儀仗の規定　三、外賓觀賀儀の規定　四、蒙藏回部貢使各王公等員朝賀禮節の規定

▲内儀科提出の分
一、服制の規定　二、封爵の規定　三、駐京辨法　四、職官儀仗

▲警衛科提出の分
一、即位警備の布置　二、中央地方臨時警備の布置

▲撰述科提出の分
一、宣誓詞　二、即位詔旨　三、大赦詔　四、頒行大詔　五、勸告安民詔旨

▲典務科提出の分
一、慶賀儀節　二、儀仗儀節　三、宮殿儀節

▲會計課提出の分
一、登極所用款　二、登極日用款　三、宮殿修理　四、洪民賞款　五、官員賞賚

●袁帝即位式場

袁總統が皇帝たる事を承諾したる以上其の即位式を速かに擧行せんとしつゝありて大典籌備所にては豫算編成に苦心中なるが今其の式場に就て聞くに前清皇室の大内たる太和殿を以て之に充つべく之を承運殿と改稱し朱内務總長を主任として目下大修繕を加へ居れりと（北京）

●新君主の大權（支那）

君主政體解決後新皇帝登極の際は憲法制定まで一種約法を宣布し國民の信を繋ぐに決し支那政府は國務會議に於て之が立案中なり今其君主の大權に關する分を聞くに左の如し（北京）

一、大皇帝は中華帝國を統治し萬世一系永遠尊戴す
二、君主は神聖にして尊嚴犯す可からず
三、君主は法律を欽定頒行し及び議案を發行するの權あり凡そ法律議院の議決を經ると雖も詔令批准を奉せざれば頒布するも無効なり
四、君主は議會を召集開會閉會及び解散するの權あり
五、君主は官制錄及び百司を黜陟するの權用人行政の權を操る内閣大臣司職輔弼議院は干渉するを得ず
六、君主は全國軍隊調遣常備兵額制定の權あり並に一切軍事の要政は省議院干預するを得ず
七、君主は國交の事宜戰講和條約訂立及び使臣遣派の權あり均しく親裁し議院の議決に付せず
八、君主は緊急の時戒嚴を宣言並に臣民の自由を制限するの權あり
九、君主は爵賞及び恩赦の權あり
十、君主は命令を發布し及び發布せしむるの權あり已定の法律は議會の協贊を得ずんば欽定の時命令を以て變更するを得ず

●新帝の服制

新帝の著すべき服制を大典籌備處に於て規定する筈なるが該籌備處にては曲阜に在る衍聖公に打電して其の所藏に係る歷代帝王の王冠王服の樣式を取調べ方を命じたりと云ふ而して大體に於て漢明の服制を折衷する由なるが該制服は祀天受賀其他の大典に濫用し平常は軍服或は常服を著用すべしと（北京）

●袁黎銅像建設（計畫）

政界に於ける一部人士は袁世凱及び黎元洪の兩氏は民國建設せられたる以來其功勞卓著のものあり現在國體改むるに當り兩氏の此擧沒すべからずとし銅像を建築し以て永く後世に傳へんと目下其賛助者を得べく東奔西走中なりと（北京）

●新帝國記念銀貨

新帝國記念として銀銅貨の新鑄さるべしと傳ふるに就て財政部某要官の語る所に據れば此新貨幣の模樣等は數十日前成り正面は『大中華帝國元年造』の八字記され裏面は五爪の蟠龍繪かれたるものにして前日天津造幣廠にて二十萬元の鑄造方を命ぜりと（北京）

●内蒙の革命黨

革命黨の一派數名四平街より内蒙古に入りて過般來奔走中なりしが愈々機熟したれば近く旗揚げせんとて準備中なりとの電報ありしにより奉天段巡按使は密偵三十餘名を同地方に急派せり（奉天）

●内蒙電線著手

内蒙電線敷設費百五十萬元は中央地方に於て各其半を支出するに決したるも其後全然交通部に於て負擔することに決定し明年二月までに各種準備を整へ解氷期の至るを俟ちて直に著手すべしと（北京）

●滿洲阿片禁絶（計畫）

東三省に於ける阿片の禁絶は次第に行はれ來りしも近來吉林黑龍江兩省と接攘せる露領沿海州地方より密輸するもの多く東滿鐵道によりて搬出し南滿鐵道によりて大連に出で山東地方に販賣せらるゝもの少なからざるにより王吉林朱黑龍江巡按使は奉天の段巡按使と商議し各税關の檢査を嚴重にし以て密輸入出を防止するに決せりと（奉天）

●滿鐵教育方針示達

滿鐵にては嚢に總裁の名を以て各沿線小學校に對し御大禮記念として兒童訓練要目五箇條を指示し此の教育方針に基き其の趣旨を貫徹すべきことを訓達したるが右五箇條は何れも最新の研究に依りて立案せられたるものなれば其の効果如何は大に注目を要するものあるを以て更に滿鐵にては各學校に向け五箇條に對する細目を各自制定し其の結果如何を研究すべき旨示達したれば各學校にては各々其の實行を期しつゝあれば何れ本社に對し其々研究の結果を報告するに至るべしと（大連）

●總督歸任期

東上中なる寺内總督の歸任期に就ては本紙既報の如くなるが其後聞く處に依れば東京出發は二十二三日の頃に決せる由にて歸途郷里に立寄るや否やは未定なれば南大門驛着時日は明確ならざるも多分二十八九日を越ゆることはあらざるべしと

●種牡牛の配置

改良の績漸く擧る

朝鮮人は由來畜牛の蕃殖上種牡牛の選拔に重きを措かず且つ近年内地及び露領亞細亞に多數の畜牛を輸移出せしに因り優良牛の數を減じ其體格劣變せむとするの傾向あるを以て之を改良する爲め先年北部産優良種牡牛七十六頭を京畿、忠北、忠南、全北、全南、慶北、慶南及び黄海の八道に配付し大正元年度に於ては同三十五頭を忠北、忠南、全南、慶北、慶南の五道に配付せり、其他種牡牛購入費を大正元年度に於いては京畿、黄海、平南、平北、江原、咸南及び咸北の七道に五千七百六十圓を、大正二年度及び三年度は各道に九千五百圓を、本年度に於ては京畿、忠北、全北、全南、慶北、慶南、平北八道に三千六百圓を補助して種牡牛を購入せしめ或は道に於て飼養して巡回種付を行ひ或は飼養料を補助して篤農家に貸與し附近の牝牛に種付せしめたるに當初人民は種々の誤解を懷き其成績概して良好ならざりしも官憲の說諭と誘導とに依り漸次誤解を去り其成績佳良となり、近時に至り農民は官有種牡牛の種付に依りて生産したる犢の體格偉大なるを見るに及び益々牡牛選定の必要なるを悟るに至れりと

●稚蠶共同飼育

稚蠶共同飼育は育蠶の方法を授け技術の改良を促すのみならず成繭の品質を一定ならしむる等、當業者を利すること甚大にして朝鮮の現狀に徴し最も適切なる事業なるを以て總督府に於ては地方費に補助金を交付し之れが設置を奬勵しつゝあり而して地方廳に於ては地方費又は授産費を以て相當の補助を與へて其設立を勸奬したる結果之等の稚蠶共同飼育事業は逐年盛況に向ひ、大正四年度には地方費の補助を受けて經營せるもの一千五百十四箇所、授産費の補助を受けて經營せるもの二百三十二箇所合計一千七百四十六箇所に達せり

●會議所の豫算

京城商業會議所第一回の評議員總會は二十日午後二時より開會の筈なるが當日附議せられたる大正五年三月末日迄に至る三箇月間の歳入出豫算額は五千五百六十二圓にして外に今回會議所の創立費として支出したる金額は五百八十五圓なりと

●議員當選確定

京城商業會議所評議員の選擧は十五日を以て行ひたる其資格の確定するは選擧後三日間にて決定す可きものにて十九日迄全員共當選承諾狀を差出したるを以て茲に全く三十名の全員當選承諾と確定せり

●乗馬倶樂部忘年會

立花警務總長を會頭とし小松前局長、鈴木局長、白井、古海兩少將等を會員とせる京城乗馬倶樂部員並に乗馬同好者は二十三日午後六時より千代本に於て忘年會を開く由、席上には京山泰爲の浪花節其他の餘興ありと

●吉原總裁歸任

東上中なりし吉原東拓總裁は二十日午後九時南大門驛著列車にて歸任す

●山形大佐自宅治療

總督府醫院に入院加療中なりし山形憲兵大佐の腦部腫物は其後經過良好なりしも全治迄には尚ほ多日の日子を要す可きを以て自宅治療を爲すこととなり二十日午後三時退院せり

人事消息

▲宮木中將（旅團長要塞司令官）十九日京城通過内地へ
▲岡本騎兵大佐（第九師團參謀長）同日内地へ
▲松浦少將（滿洲守備旅團長）同日内地より通過赴任
▲佐々木海州地方法院長　十九日内地より歸任
▲三浦馬山府尹　同上

南言北語

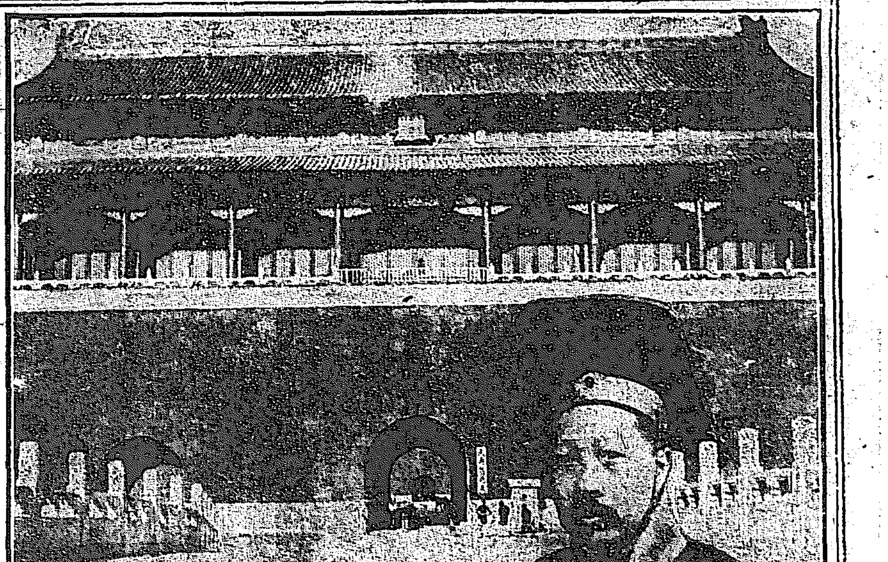
▲波斯も愈々獨墺土側と同盟蹶起する事となつたらしい▲巴爾幹の聯合軍はサロニカに立て籠つて手も足も出ない今更ら伊太利の大軍が援助に來たつて遲かりし由良の助ぢや▲之れ丈けならまだしも三十萬の土耳古の大軍は獨將指揮の下に蘇士を襲ひ勢に乗じて埃及を荒すと云ふ計畫だ▲之れは最う初つから獨逸側の豫定の計畫であつた事は言ずも每度云つてあるから今更驚かぬ▲之れが爲に英國などでは其の人心に及ぼす處甚しく重大であらう▲其れから獨逸の惡策は愈々英領印度に迄及ぶに違ひないヤレ／＼又た日英同盟が何とか彼とか云ひ出すのかナアうるさい事ぢや▲巴爾幹で成功した獨逸は妙に威勢が好くなつて東西兩方面の戰線でも大活動をやらうと計畫しつゝある相な▲併し之れは獨逸が敵を破るよりも自國内の非戰熱を叩き散らす爲めの苦心の策だらうが▲燈火の將に滅せんとするや一層強い光を放つと同樣此の花々しい活動は却つて獨逸の衰弱を示すのではあるまいか▲黎元洪さんまで親王に祭り込れたらしいが何うやら馮國璋も公爵になつて參謀總長に段芝貴も公爵に其他侯伯子男がヅラリと出來る▲今迄反對だから頸根つ子が恐ろしかつた連中が思ひもよらず華族樣になつたから餘り惡い心地はすまい▲三度辭退の禮なぞは廢して手つ取り早く辭爵を許さずだから無理に祭り上る際だ地下では伯夷叔齊が苦笑して居る事だらう▲イヤ四億人中だから一人や二人はあるのだらうと見て居たら何時も馬賊討伐に差し向けらるゝ熱河將軍姜桂題君と審計課長の孫寶琦君の二人は憤然官を抛て天津に去つたと云ふヤア其處いらの處かね▲内閣彈劾案は近來議會の年中行事の一ツとなつて居る何でも彼でも一遍や二遍は飛び出さなければ納らぬ▲其度毎に操り合ひの大騷動をやつて野次馬の傍聽者に喝采をさせる處は世界無比の議會だ▲殊に不具の總理大臣の腳をつかんで見得を切るなどは新派政治活劇と云ふ時代遲れの田舍芝居▲議會の神聖など云つて聞かせたつて耳か頭の後に付いて居る樣だから聞えよう筈がない▲其樣に騷ぎたければ先づ大事の豫算討議を濟ませて手のすいた時やるがよい國家は國家諸君は諸君其の區別は分つたかね

＝日記界の霸王出づ＝

『我等は日本國民である』と云ふ自覺は我等が無二の光榮であり誇りであります―此光榮と誇りとを每日自覺して國民としての責任を果たさしめんが爲に『國民日記』と云ふものが出來ました―『國民日記』の優美なる體裁は世界に卓越せる我日本の自然の如く―堅牢無比なる其製本は天下無敵の大和魂の如く―其充實せる内容が古今東西の智識を網羅して餘蘊なきは恰も日本の文明が世界のあらゆる文化の粹を拔きたるが如し『國民日記』は從來有り觸れた日記のやうなものではありません―眞に國民の爲に作られた國民の日記であります

定價 金四十五錢　郵税 金 入 錢

取次所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部



袁世凱即位大典籌備處と祭服を著せる籌備處總裁内務總長朱啓鈐氏

●すつかり膳立が出來た!

あとは箸を附けるばかり—支那の即位式

袁皇帝の名は最早二十世紀の歴史から取り去ることの出來ぬものと成つたその即位式は如何に行はれるであらうか支那歴史研究家の説によると支那の即位式は日本のとは大分其趣が違ふ、支那人の思想では元來宇宙全體を支配する神即ち天があつて皇帝は畢竟「天工其代之」と稱して天は口がないから人をしてこれを言はしむる爲めに君臨するものであるといふのであるから、皇祖皇宗を神として奉する日本に比すれば恰も

皇帝は將軍或は攝政關白の位地

にしか當らない、それで日本では即位の御事は單に皇祖皇宗に告ぐる意味になるけれど、支那ではそれを先づ天に告げ更に祖先に告ぐる必要から『告天』といふ儀式の外に『祭祖』と云ふ儀式がある、所が、これに就て面白いのは明末の忠臣袁崇煥と言ふ豪い人物が居たが袁世凱はこれを自家の祖と言てゐるで若し即位式を擧ぐるとすれば即ちそれに對して『祭祖』の式をするに違ひないが、實は九月頃の支那の新聞で見ると多分袁の意を受けたものであらう其の袁崇煥を日本で言へば義家、清正の樣に軍神として仰がれて居る關羽、岳飛の廟に合祠する事とした

自分に箔を附ける上に何より効

果のあることであらう、考へて見ると袁の遣方は一から十まで却々膳立が巧い又支那には國賓として例へば唐に對する隋の後裔、今で言へば袁に對する清朝の後裔といふ如き其前朝の裔は即位に臨んで賀表を奉らねばならぬ尤も昔では前王室の後裔として有力なるものは片つ端から殺して了つたから事實上其の事はなかつたが今や列國環視の現代ではそれも出來ない、從つて縱しや代理が出るにしても前清の宣統帝から何うしても賀表を奉らねばならぬので子供ながら宣統帝の心事を察すれば眞に同情に堪へぬ次第である

▲影武者

二十餘名の護衛

支那革命黨の一首領神戸にて語りて曰く『袁世凱は多數の密偵と刺客を放ちて余を附け覘ひ長崎に上陸後も汽車中まで尾行せしめしも余は巧に避けて門司に至るを得たり

袁は刺客を怖るゝ事甚だしく其

左右に宋房著、宋房楠の輩袁と寸分違はざる扮裝にて二十餘名控へて眞僞を判別するに難からしめ暗殺豫防の用意頗る周到なるものあり又今回の上海革命戰は余等一派と關係なく

陳其美も關係無し孰れ機を見て

驚天動地の活動をなすべし』云々と

●小女一人金五十錢

あはれ老若火水の責苦—亞國の慘狀

老外人大隈首相に迫つて救を請はんとす

神戸在住の亞美尼人にして今より五十餘年前印度義勇兵の隊長なりしエムゼー、マーテン氏(八五)は本國人の悲慘極まる現狀につき東京官民の同情に訴へんが爲めに奥田東京市長及び大隈首相等と面會を請ふべく不日上京する由氏は往訪の記者に語りて▲昨年末以來英露佛の諸國と交戰中なる土耳其は云ふ迄もなく回々教國にして教祖馬哈麥を崇拜するに對し亞細亞土耳其六洲の一なる亞美尼の人民は耶蘇教徒にして基督を奉戴するにぞ同じ一神教信者ながらも兩人種は常に犬と猿の間にて多年紛騷の絶ゆる暇なく而も亞美尼人は夙と土耳其に征服され微々たる爲に屢々土耳古に苦しめらるゝ亡國の民とて人口も少し勢力もなしが千九百零九年の虐殺後歐洲列強の提議にて土耳其政府は不承々々に亞美尼の改革に同意しそれか爲に土耳其が獨墺の味方をなす迄は土政府の虐待の手は幾分か弛みたり△然るに土耳其が聯合軍相手の大戰爭となるや亞美尼改革の局に立ちたる土耳其の長官はサツサと從軍し改革は固より土耳其の心にもなき業にてその後は全く立消となりしも未だ虐待を加ふるに至らざりしが土耳其陸相エムバ、ハシヤの軍が露領高加索に戰ひて敗走するに至り亞美尼には自然の人情として心を露國に寄するものありたるにぞ左なくも異教徒として幽の好かざる土軍の事とて愈々暴れ出し正式の軍とカーズと云ふ蕃族軍とを以て亞美尼の部落を包圍し良民非良民の區別なく片端しから火を放ち財寶を分捕り燒殺し突殺し斬殺して從僕盡れる幾分の老幼男女は之を船に乗せて幾回も海上に運び陸岸より大砲もて之を擊沈したり本年九月頃までに燒拂はれたる市町村は五百箇所に及び僧侶も街燈柱等に吊して絞殺されたるもの多く少女は強姦の上醜業婦として競賣に賣られ中には一人の身代金として四五十錢の僅かの金で賣却されたる者さへあり△斯くて土耳其の毒手に倒れたる者又は行衛不明の者の數は六十五萬人と註せられ其餘の者は八分逃げ往きたる者も尠なからず、又英佛の軍艦は土軍の砲火を浴びつゝも亞美尼の避難民五千人をポートセツドに送り届けられたりとの報あり、僅かに生命を拾ひて居る殘れる者も資金を失ひ饑渴に苦み父母兄弟と別れ慘憺たる有樣なるを以て米國宣教師は率先して救恤を行ひ英國も之に次ぎ又印度の亞美尼人も義捐金を募集しつゝあるを以て此の際日本の中心たる東京官民の同情に訴へんが爲めに鹿島神戸市長の紹介状を請ひたるに快諾一書を與へられたれば之れを携へて上京し横濱の同國人とも相談の上奥田市長大隈首相にも面會を請ひ幸にして多少に拘らず義捐金を得る時は之を神戸の外字新聞に委託して印度の義捐金募集本部に送る豫定也云々(大阪支局)

●朝鮮の翁草からアネモニン

朝鮮藥學界の發見—婦人病の妙藥

歐洲戰爭が始められて以來種々の方面で不便を感ずるが藥學界での不便も鮮くない其が原因となつて種々の

□研究が進み

出した事は一方から言へば悦ぶべき現象である夫れで何か朝鮮でも之に貢獻する處があればと豫々思つて研究したのが朝鮮翁草からアネモニンの精製である、と總督府醫院藥劑部長吉木彌三氏は語る、一體獨逸の藥品は化學的に原料と原料とを調合して製品を製造したものが多い然るに東洋では

□草根木皮を

以て獨特の製藥を爲して來た之れ決して東洋が西洋に劣つたものとのみ斷ずる事は出來ない要は最後の効用にある草根木皮と雖も、實際の用に立てば決して捨てたものではない翁草は朝鮮に十五種程ある其内で最も代表的なのは朝鮮翁草と稱せられるもので、學名はアネモネ、ツエルヌア、コレアーナ、ヤベと云ふ

□矢部博士の

命名に依るものである朝鮮人は普通[illegible]と云ふ之には色々な異名があり白頭翁、野丈人、老翁鬚、胡王使者などと云ふが之れ皆其花形から來たもので朝鮮人のハルミーコツと云ふのも老婆花と云ふ意味である春五月根を採り陰干にして藥用にするとされてゐるが又或る地方では鞋草を

□子宮病殊に

月經不順、熱病、下痢等に効能があると言はれてゐるが斯ふ種類の違つた病氣に効あると云ふのは無論無稽の説と言はねばならぬ、西洋では喘息、百日咳、痙攣、頭痛、眼病にいいと稱せられてゐる、支那や日本では煎じて飲むが朝鮮では皮膚病などにも使用する、然るに此草の含有してゐる性分は

□非常な刺激

性を有し炎燒を起し水膨れとなり根を潰す事などもあるから危險だ、此の強力な刺激性はアネモニンと云ふ性分に依つてゐる、西洋のアネモネ、日本の翁草からはアネモニンを精製した事があつたが、朝鮮翁草からは未だ一度も試驗されたことがなかつた夫れを

□今度やつて

見たのである、一體此アネモニンは植物が枯れてしまふと分解して消滅する全然枯れなくても乾燥しても餘程力が減ずる予は五月頃採取して試驗したが時間と材料の不足の爲め充分な成績を擧げる事は出來なかつたが可成りの成績は擧げ得た、先づ細かに刻み酒粕から

□酒精を採る、

之にランビキに掛け水蒸氣で分離してエーテルに溶し精製すると黄色の液體となる之をアネモン油と云ふ非常に刺激性の臭氣と苛辣性の味ひがあり皮膚に塗れば膨れる、更に之をクロロホルムに溶かし氷と鹽とを混せた寒劑で冷却すれば

□白色結晶物

が出來る、之をアネモニンと云ふ此の無晶形のものをイソアネモン酸と云ふがアネモニンが刺戟性でイソアネモン酸は何等の作用もない、此アネモニンは直に以て實用に供する譯にも行かないが朝鮮の山野に斯くの如き藥草のあると云ふ事を明にし得た譯である

●青島陸軍倉庫の爆藥紛失

釜山警察の活動

曩に青島陸軍倉庫に於て多數の爆彈紛失せし事あり其窃取せる目的が何に使用さるゝかは不明なれども多分例の不正漁業に使用さるゝものならんと通牒に接したる釜山署に於ては爾來青島方面より入港せる船舶に對しては特に深き注意を拂ひ某汽船の如きは船内に臨檢せし事もありしが遂に何物も發見するに至らず今日に及びたり然るに一週間程以前豫てダイナマイト密輸入を以て物色されつゝある某々等五六人共謀して大連方面より多數のダイナマイトを漁船に滿積し釜山港に入港したる形跡あり又其の關係者の一人を逮捕したるに首謀者某々等の所在を容易に自白せざる爲め釜山署に於ては之が檢擧を速かにせんと日夜之が搜査に從事せるものにて多分青島より輸入せるものなるべく其の價格も高額に達し近來の大事件として秘密の裡に搜査の歩を進めつゝあり

●虎狩外人

鹿五頭を殪す

虎狩英人サー、リチヤード、デインの一行は其後全羅南道同福山中に一週間餘天幕生活を行ひて狩獵に努めたるも遂に虎に遭遇せず最近鹿五頭雉鷄九十五羽を獲て十七日の雪を冐し光州に歸り來れるが其の爲め寒冐の氣味にて目下休養中なり快復後或は京城方面に向ふやも知れずと

●三人組の窃盜

遊廓で大盡風

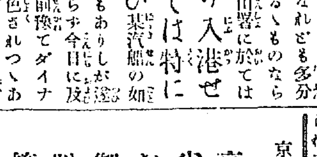
奈良縣吉野郡吉野村生れ當時住所不定小川奈良吉(三二)香川縣高松市生れ住所不定橋本義平(三十)大阪市北區生住所不定井上龜吉(三十)等は共謀窃盜を働きたるものにて小川は窃盜罪に依り京城地方法院に於て前科二犯の曲者橋本は窃盜或は横領罪にて同院にて前科一犯の者なるが小川は十月十三日永登浦分監より滿期出獄し京城黄金町四丁目旅人宿に宿泊滯在中同月二十三日午後七時頃並木町大和某方に侵入して柳行李在中の三つ揃背廣服外八點(八十一圓)を窃取し或は入質し又は賣却したるを手始に外四箇所にて左の如き窃盜を働きたり

▲黄金町三丁目佐藤方衣類一點外數點(三十二圓)▲古市町鐵道官舍白井方衣類七點外一點(六十七圓三十錢)▲山[illegible]江通崇原方金一圓(十一圓七十錢)▲古市町鐵道官舍大野方洋服三着外一點(二十八圓)

等を窃取し前記井上を使役して贓品を處分せしめ尚小川橋本は共謀して十二月一日初音町東村方に侵入し衣類三十餘點(百六十五圓十錢)を窃取し橋本及び井上兩名は之が處分をなす爲め市内各地の古物商に賣却し或は質屋に入質し代金は新町遊廓にて大盡風を吹かし居る所を本町署の刑事に取押へられ何れも檢事局へ送られて逆戻りとなる

京城本町 シノサキ本店

高尚な御贈答品



京城本町 シノサキ支店

●女按摩金時計を盗み去る

京城本町二丁目居鍼灸按摩業吉川いち(四七)は十二月四日午後四時頃竹添町一丁目高瀬某方の招きに依り同家に赴き約一時間治術の後歸りの駄賃に同家妻の寢室裁縫臺の上にありたる金側懷中時計鎖付(價百七十六圓)を默つて持ち歸りたる爲め鍾路署に取押へられ同署に引致取調べの結果尚同人は九月十九日にも旭町一丁目に居住中同居人なりし柴北某女の行李中より同人所有の薄茶色お召袷一枚(三十二圓)も窃取し尚ほ九月十二日にも同女の銀側懷中時計一個(十八圓)を窃取したることを自白し檢事局へ送らる

●老人電車に觸れて死す

十九日午後六時頃京城南大門通明治町停留場附近にて乞食體六十歳位の鮮人男折柄進行の電車に觸れ人事不省に陷りたるを本町署に擔ぎ込み應急手當を加へしも間もなく死亡したり死因判然せざるを以て二十日解剖に附したり

絶大なる致富の捷徑

歐洲の戰亂勃發以來萎靡振はざりし吾財界も戰局の樂觀的狀况に於ける帝國の地位如何等豫測し今や將に人氣沸騰せんとす此千載一遇の秋に方り大に活躍すべく本會は最も嶄新なる致富の捷徑たるべき利殖の方法を案出し洽く滿天下の諸君に提供せんとす然れども固より多少の資金なかるべからず則ち僅々貳拾圓以下あらば諸君は數年ならずして確に一萬圓の資財を産するを得べし而も是以外何等の智識と手數を要せず如何なる[illegible]があつても克く之を利用し同時に恐らく天下唯一の好機關たる事を誇るもの也時は金なり諸君即刻ハガキ一本を以て◉規則書無代進呈す

大阪市今橋壹丁目三番地 [illegible]會

歳末歳始の贈答品は

スワン萬年ペンに限る

各地有名の文具店及精準品販賣店に販賣せり目錄あり進呈

大阪市東區平野町二丁目 スワン萬年筆大阪出張所 電話長本局四百七拾番

年末年始御進物品

鰹節 本場紀州みかん

銘茶 淺草海苔

鰹節本場一筋もの澤山著荷致居候間弊店切手御所持の御方は此際御引替に便利と存候

仁川宮町 青島商店 電話七〇九番

天下一品

年末年始の御用酒は生粋の灘釀白鶴印に限る

大阪横堀 嘉納合名會社

御贈答用 メリヤス各種

體裁優美實用向品揃

小供マント各種新荷著

足袋厚司 ショール 雜貨

京城本町二丁目 鈴木支店 電話一八七二番

うきよ 四巻一號 新年號

火中水中命懸けの活劇 義理の二字には降参た 人魂が夜半に飛び廻る 奇人平氣の平ちやん 大正名物ハイカラ總捲り 美人と老色魔 苦心探偵 ◉文學藝者哲學女將 ◉娼妓に成る迄 ◉吉原巻緞 品川御殿山の大捕物

特別懸賞 大福引 稀代の怪賊 陸海軍人の留守宅を襲ふ 諸角樓の孝行華魁 ◉可恐蝮の女房 ◉男を呪つた女の告白

實業文社

●資産家の息子

なる爲藥學の任意ならざるを知り同人を欺騙して金の入用あらば…に生糸を受取らしめたり而して折善の朴元浩方に遣はしたる結果現金二…

…一太郎犬に咬み付かれたる野犬は凡て…る智識を授け海員の受驗準備に資す…

曇但し少雪

…居住米穀商朴圻善(三十)は本年九月十…日…全南谷城郡邑內丁李學なる者が…數萬の資産家なるも實父の監督嚴重…平面の村元浩へ四千二百六十圓の…利借用證書を差入れしめて現金三百六十圓と…六百四十圓の引當て…延着を…と定め更に丁奎に金二千圓の借用證書を認めしめて前記金…は鍾路署に引致の上取調べ…折善が横領したる形跡あるより同人…出張…し…診…に疑似(?)…確定したれ…

●鴨綠江採木公司の事業
東洋に於ける木材界の權威

鴨綠江採木公司は明治四十一年九月奉天に於て日淸兩國政府委員の協議決定せる業務章程に依り兩國政府の合同事業として成立したる國際的會社にして鴨綠江右岸帽兒山より上流二十四道溝に至る森林の伐採及び其附近一帶に產する木材の買收を行ふ事とし明治四十一年九月資本金北洋銀三百萬元全額拂込を以て開業し爾來幾多の困難苦沮を甞めつゝ事業の改良刷新を圖りしが近年に至りては著しく好成績を擧げ來り國境に於ける經濟の一大權威をなし繰業困難なる合辦事業の模範と稱され東洋に於ける木材市場より米國材を今や驅逐せんとする盛運に到達し鴨江材の聲價を揚げんと努力しつゝあり

▲無限の寶庫　鴨江流域中森林として有名なるものは本流に於て八道溝十五道溝十九道溝二十二、三道溝支流渾江にありては吟泥山、回頭溝三岔子、羅圈溝、老龍崗上にては河濛江なりとし其林相は平坦なる高原に曾て斧鉞の入らざるもの多く晝尙ほ暗き觀あり之れが面積は本流地方公司直營區域約四十萬町歩專採區域入萬餘町に及び內原生林は約三十萬餘町に上り其材積約一億七千萬尺締と推定さる、渾江支流地方は未調査に屬する林相多く其材積は不明なるも一億尺締內外なるべし而して一般に針葉樹多く多數の濶葉樹を混じて年々其出材量は百萬尺締を越へつゝあるが今後濶葉樹の利用法を講じ其販路を開拓すると同時に安東縣に新設の木工廠等を擴張せしめ器具器械の製作工業を發達せしむると云ふ

▲無盡藏の鴨江材　鴨江森林一般の林相は下方は無立木地又は散生地にして次に濶葉樹林の部を過ぎ針濶混合林となり漸次上方に進むに從ひ針葉樹を增加し最後に針八對濶二の歩合となり一般に樹幹長大の老木密生す中にも渾江流域の產出額は全半を占め本流右岸約三割半左岸は最も少し、今後伐木地に於ける稚樹の保護に注意し野火の延燒さへ防止し針葉樹の山地に於ける森林更新保護方法にして適當に行ふ事を得ば殆んど永久に現今の伐採額を減ずる事なく經營するを得べしとは同公司の證する處也

長白府附近十九道溝に於ける採木公司運材の光景

▲主要材木の用途　公司として主要なる材種は左の如し

▲杉松(唐檜、白檜、樅)周圍十尺高百數十尺に及び質は北海道のエゾマツ、トドマツに優り建築材、箱材、電柱等用途頗る廣汎なり　▲紅松(朝鮮五葉)高さ八十尺周圍十三尺に至る材質良好にして木理甚だ美なり外觀は光澤を有し白色に微紅を帶び柔軟にして工作を施し易く且つ保存力强く家屋建築器具製作殊に戶障子、窓枠、天井板には一般に喜ばれ內地檜に紅色を加味せる觀あり　▲黃花松(落葉松)も高さ百餘尺周圍十尺內外、材質用途は一般知悉す　▲赤柏松(アラ、ギイチキ)周圍四尺位多く高さ四十尺材色薄赤にして質頗る緻密彈性に富み割裂、伸縮の恐れなき爲め皆は簪を製し箱材器具其の他小指物用に珍重さる　▲水曲柳(シヲジ)は周圍六尺高數十尺に至る材質堅硬にして重粘の特色あり折れ難く水濕に堪ゆる故船舶車軸枕木銃床下駄其他の器具用材となり近來需要頗に增加す　▲楡木(ニレ)周圍六尺高六十尺に至る材質堅硬緻密にして机、椅子車軸釜椀の細工用材に適す　▲椴木(シナノキ)周圍六尺高五十尺に至る材は白色軟美にして製經木燐寸軸木の原料其箱材器具材に供せられ將來製紙業勃興と共に此種材木は大に需要を喚起すべし楊木(ドロヤナギ)も材質用途は前者に同じ　▲柞木(オホナク)周圍六七尺高六十尺位鴨江岸至る處多產す質堅く車軸、船盤材器具機械の柄枕木腕木其他の細工用として此樹の右に出づるものなし其他胡桃(オニグルミ)刺楸(セン)黃披欏(キハダ)赤楡(オニノカンバ)等の大樹各所に產出するが其質用途は概して世人の知る處多く省略す

▲鴨江材の販路　鴨江材の販路として第一に天津を中心とせる渤海沿岸諸港北は營口錦州より南は龍口芝罘威海衞靑島の諸港に及び各市場は既往二十年來鴨江材の獨占地なり殊に天津は背後に北京の大市場を控ゆる故每年同公司の材量三四割は此地に輸出せらる近年に至り是等各都市に出張店を設け販路を開拓すると同時に上海の大市場に巍然頭角を現はしたる米國材北海材に對抗を試みしが偶歐洲戰亂に際し船腹拂底の結果運賃高騰したる爲め二大强敵は鴨江材によりて漸次壓倒されんとしつゝある傾向を示し來りたるは同公司の活躍をして有意義たらしめたるものなり尙ほ南京漢口方面にも盛んに手を展ばし盛價を萬む又安奉線南滿線の建築材料は九分迄是が供給をなし大連支店の如きは北海道材を根底より一掃せんと活動し奉天に於ては北滿材を壓迫し其勢力北漸は豫期以上なりと、朝鮮に於ける需要は鮮鐵の運賃低減は翕然として其勢力を增大し鐵路沿線の各都市海港等需要は年々增殖し朝鮮輸出額は年々二十萬尺締に達するを見ても盛況の一般を推知するを得、今既往五年間の輸出統計を示せば左の如し

仕向先	明治四十三年	同四十四年	大正元年	大正二年	大正三年
天津	300,000連	400,000連	250,000連	230,000連	381,000連
山東諸港	200,000	250,000	150,000	140,000	146,000
營口	35,000	50,000	20,000	35,000	21,000
錦州	35,000	50,000	20,000	10,000	35,000
大連	50,000	40,000	50,000	10,000	17,000
朝鮮	55,000	100,000	150,000	30,000	60,000
安東	100,000	100,000	140,000	180,000	140,000
奉天	17,000	15,000	35,000	5,000	16,000
上海	—	8,000	30,000	[illegible]	16,000
滿洲一帶其他	148,000	157,000	150,000	80,000	80,000
計	1,000,000	1,100,000	[illegible]	722,000	1,436,000

備考　連とは日本尺八尺三寸を云ふ十一連を一鎖とす一鎖は千八百寸にして尺締にせば十二尺〆となり普通價三圓內外の相場なれば價三圓六十錢と見て大過なし

■貯木場の壯觀

▲貯木場の壯觀　鴨江の流筏は夏期筏の江上泛游する時季は沿岸至る處隨所に繫留し筏の艤取引する慣習あるも冬期結氷期に至り尙ほ取引を完了せざるものは江岸の陸上に積立つるを普通とするも斯くては一朝洪水又は大潮に遭遇せば流失を免れず船積の際不便不利甚しく公司は夙に一大貯木場設置を企て鴨綠江橋下六道溝に廣大の面積を劃し安東縣より鐵道を布設し大正元年より起工したる貯木場の設備は未だ完全せりと云ふにあらざるも水中貯木地の堀鑿面積約二萬坪陸上貯木地十二萬坪を有し輸送機關を其々設け陸上常に三十餘萬尺締水中貯材一時に三萬尺締以上を收容し大洪水に流出の患なく船車荷積の便遺憾なし國境を通過する人は橋上より下流沿岸の開濶地に秩序正しく山積されし材木を見鴨綠江上流の富源に垂涎せざるはなし

▲倉荷證券發行　公司は一般木材業者の便益を計り木材の保管をなし寄託者の請求に應じ倉荷證券を發行し金融の便を圖りし結果從來種々なる煩雜損耗をなしたる弊害より脫し同公司の信用を高め健實なる商人蝟集し取引頻繁を加へ其發展隆々たり

◉國際電信繁昌
開始以來の記錄

客月滿洲郵便局取扱日露國際電信は滿洲發五百四十九通八千四百八十四語滿洲着四百九十九通七千三百七十五語又た仲繼は本邦發三千四百十八通六萬八千二百七語露國發三千四百十六通六萬四千百五十七語發着合計七千八百八十二通十五萬八千二百廿三語にして昨年十二月開始以來の記錄を作れり而して其大部分は東京又露都間長文の官報にて此等電報は多くは午後より夜に掛けて輻輳し來るを以て滿洲局は繁忙を極めつゝあり尙ほ本月に入りてより滿洲發浦鹽向私報電にして宛名人に配達せらるゝ迄頗く遲延して往々不着又は甚だしく常となし殊に浦鹽よりの私報は浦鹽局に於て全然受付けざるものゝ如く時恰も浦鹽の新課稅實施期に際せる事とて此電報故障の爲め甚だ迷惑を蒙りたるものあるとの事なるが斯く浦鹽に於ける不著又は不受付は時局柄獨探戒嚴上露本國政府よりの命令に依る私報に對し嚴重檢疫の結果ならんと觀測さる

◉忠州勅諭奉讀式

帝國在鄉軍人忠州分會にては十八日午後六時會員及び官民有志を憲兵分隊に招待し御大典後在鄉軍人大會に賜りたる勅諭奉讀式を擧行せり式後大會に參列せし副會長陸軍重砲兵豫備少尉原口一二の講話に亞ぎ酒食の饗應あり盛會なりき

◉連絡船上陸客

十九日午前入港新羅丸一、二等客　[illegible]

十九日午後入港對馬丸一、二等客　[illegible]

商況

東京株式特電

	十八日前場寄付	大引
日本郵船	200.80	[illegible]
日淸汽船	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	151.90	[illegible]
同新	120.90	[illegible]
日本麥酒	[illegible]	[illegible]
東株第一	298.50	295.00
東株第二	[illegible]	[illegible]
東新第一	269.00	[illegible]
東新第二	[illegible]	[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

朝鮮物產特電

[illegible]

雜報

◉株式界益沸騰　八十錢に新高値　二百八十九圓　[illegible]

般的景氣の一　[illegible]

大株二百二十五圓　[illegible]

◉鐵價の其後　[illegible]

初めて輸入杜絕　[illegible]

◉正米は暴騰　農家の賣惜み機先　[illegible]

高値一段の高値越　[illegible]

◉金布類强硬　[illegible]

綿糸界の人氣　[illegible]

下關相場　値上更に粗布二圓方　[illegible]

京城正米　約四五十錢高　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長[illegible]

南大門の廻米　[illegible]

京城より逆輸入しては深算　[illegible]

仁川現物市場　[illegible]

仁川期米　二十日前場十五錢高　[illegible]

大阪四節四十七錢安移り　[illegible]

顧客本位正確神速 仁川米豆取引所仲買人 サンビキ 仲買店 電話[illegible]

市場雰聞　前場の大商戰　[illegible]

▲前場爆發す　糀正米高と大阪の上放れ　人氣再び沸騰　忽ち形勢一[illegible]

▲當限納會す　[illegible]

變化に難き[illegible]

▲受渡し高　[illegible]

値は十圓八十錢の最高　[illegible]

▲掉尾の大活躍　年末掉尾の大活躍　[illegible]

▲保合上放れ乎　後尙一段の高値を顯出　[illegible]

仁川米豆取引所　二十日の二月限　[illegible]

▲鐘紡株　[illegible]

北濱だより　[illegible]

▲此次は砂糖株か　[illegible]

▲南滿新株　[illegible]

酒清等優

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店

發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話[illegible] 振替口座[illegible]

時下嚴寒の砌り御得意樣各位益々御淸榮の段大慶至極に奉存候陳者弊亭儀各位の御引立を蒙り日々隆盛に赴き候段奉深謝候就ては此際聊か平素の御厚恩に報ゆる爲め特に一層の大勉強仕り忘年會、新年宴會及び正月重詰其他御料理一切如何程にても御需めに應ず可く候間些少に不拘御用命仰せ付けられ度此段謹んで御願申上候
京城南山町一丁目(電話二三五番)
松葉亭

木綿 羅紗 厚司卸問屋
◎遠近多少に不拘迅速出荷可仕候
酒道具 呑口式 大勉强
仁川港宮町
㊅富澤商店
電[illegible]

福袋
增加
◎歲暮大賣出し
◎福袋は一圓毎に進呈
◎白米反物數百反增加
唐川吳服店
京城明治町◎電話二六一番

贊化病院
京城本町二丁目
電話二四一番
入院隨意 普通病室並隔離病室
院長 醫學博士 古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず(每日五名を限り無料施療す)

開業御披露
十二月二十日より同二十六日迄開業御披露として定價より
精肉一割引
京町本町三丁目(警務總監部通)
山口精肉卸小賣部
電話一七三[illegible]

越後大評定

第七十九席　早川貞水口演

光國の一言

此とき光圀公 光『東照宮御盛んの時に、御眼識を以て附家老として三家その他に下し置かれたこと、今予が申す迄もなく、尾張家には成瀬、竹越、紀州家には、安藤、三浦、予の家には山野邊、中山、是は皆公儀より附家老なれど、其家々の臣下と相成り居る、越後への附家老は、其身も知る通り、小栗美濃守を下し置かれ、美濃の誠忠、よく主家の安全を圖りくれたるより、其一子大六父の後を襲いで家老職となり、越前より附き廻りたる者である、然るに其方が其者の頼みを聞き、將軍家へ言上いたし、公儀へ召還へすとあつては、何人も附家老として、陪臣で居るよりも、天下直參になり度は、皆望む所なれば、今後また小栗の例を逐うて、願ひ出でたる時は、何と致す、彼には許し、是に許さぬと云ふ譯には參るまい、左ある時は、東照宮の御眼識以來、漸次附屬いたした附家老が、御公儀御直參と相成つては、甚だ以て宜しからぬ、光圀斷じて許されぬに依つて、美作に確と申聞けよ 雅『ハ、ハアー』副將軍の御一言將軍家は御病氣にして『何事も』さうせえ』で御坐いますが、一體こういふ大事を、大老が一存を以て計るべき次第でない、將軍家へ言上致す前に御三家へ對し御相談申上げ徳川御老臣の内に異存のない時に、初めて上申して御許可を得べき筈で厶いますから、此御一言は、雅樂頭胸に五寸釘を打込まれたやうな心地『ハ、ハッ』と平伏する、其位の御威光がなければ、副將軍の役は務まりませぬ、然れば水戸家ばかりは、將軍樣と同じやうに、何事もなさる、此君が確乎して居らつしやらなければ、萬一の秋は一大事、そこで雅樂頭は據ろ御坐いませぬ、再び將軍家御前へ出で御沙汰止の儀を願ひ上げ、勅使河原にも此儀を申し聞けました、勅使河原『委細心得ました』と小栗の屋敷へ來て『さて美作殿、擬て御依頼の一條、主人雅樂頭殿より將軍家へ言上いたした所、速かに御聽届けに相成まして御坐るが、水戸副將軍より、附家老召還しの儀は相成らぬと堅く御叱りに御坐います、其故據なく御沙汰止みを願ひ上げたる次第甚だ貴殿へ對し、御斷り致すのは、拙者とても心苦しきことで御坐るが全く以て是非なき次第副將軍よりの御差止、御推察のほど願はしう 美』ハッハア 六『思ひの他に不首尾で御坐いまして、御貴殿には甚だ御氣の毒』流石の美作、暫くの間、無言にて控へて居る、此容子を熟と見て 六『さて小栗殿、失禮ながら御貴殿に於ては故宰相一白樣の御子樣を與方に迎へ居らるゝことなれば、御一子大六殿は、只今の殿樣とは御兄弟同樣、此處が御思案の付所で、若し殿樣下野守殿、御逝去でも遊ばしたるならば、越後家の血統は是に絶えるに依り、貴殿の御子樣を以て相續を願ふより他に道は御坐るまい、臣下一同とても、此儀に否やを言ふ者は、萬も一人も御坐るまい、拙者とて其儀然るべきかと存ずる』

演藝案内

有樂館　本町一丁目　電話二六六
十二月十八日より新寫眞　○實寫エクレール週報…　○新派活悲劇　閻魔の姦　全三卷　○泰西正劇　戀ぬるゑにし　全三卷　○泰西大活劇　暗給　最長尺　○喜劇　久米の仙人　全七十場

大正館　櫻井町　電話八七三番
十二月十八日より歳末掉尾の大寫眞　○實寫…　◎泰西人情劇　俠少年　全三卷　◎新派悲劇　五月日記女讀夫　全三卷　◎喜劇　大前田英五郎　全三卷

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七
十二月十六日より特別大寫眞提供　◎泰西大活劇　第二女ブラウン　全四卷　◎死次第　權三郎　全四卷

壽座　本町　電話五七八
十二月十八日替り藝題　新派誠美團一行　…實の響　六幕

暦

十二月廿二日九星
舊十一月十六日　丁亥
本命六白　乾　閉　友引

年末の贈答品には　實用向きな　ちゝぬ銘仙　京城本町二丁目　ちゝぶや　電話八九〇番

キナピリン　最新高等風藥
●キナピリンは現代に於ける最新藥にして最も進歩せる解熱藥なりと大方の歡迎を受けつゝあり
●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛
●インフルエンザ●リヨウマチス
●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
定價　二包入拾錢　五包入廿錢　八包入三十錢　十五包入五十錢　三十二包入壹圓
發賣　本舗　大阪堂島　高橋盛大堂本店　同心齋橋　高橋盛大堂分店

最新高等風藥

皮肉料理　重詰　大勉強　仁川宮町　食道樂　電話二五五番

りん病　消渇で困る方多年の慢性も自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其妙藥と自宅療法の詳細を報す　名古屋市南かじや町　武藤亀吉

月經　流經　月經不順ノ確ニ應用ノ目的ヲ達ス　發賣所　大阪市北區曾根崎上一丁目三六地　常盤藥院　振替大阪二八三七〇

流經新藥レスノリン

浪花館　電話二六〇番　明治町　京山恭爲一行

壽館

御成座　電話二九一

廣告　うなぎ味噌漬　燒ハゼ　生鰻　生かき　くらげ　大坂賣　京城旭町二丁目（不知火旅館角）　うなぎ味噌漬、燒ハゼ　發賣元　三友商店（電話一四八〇番）

期米　取引確實　大阪堂島濱通一丁目　入江商店　電話

移轉廣告　江原道春川行乘合自働車　京春自働車商會　電話二三八番　移轉地　京城水標町五〇番地

有望確實　職業　年中無休　最も販路廣き新案特許家庭日用品各種の製造販賣　京都市二條通大橋東入　中川商會貿易部　振替大阪一四五六七（電上二四七二）

志らがナイス　赤毛染
色も艶も申分ない　志らが染はナイスが第一
ナイス五大特色　■僅二十分で染る、■永く剝げず褪めず、■艶々と黑く美しく、■標枕に浸染せず、■用法至極簡易
大瓶六十錢小瓶卅五錢　男子用廿五錢
發賣東京大阪　丹平商會
到る處の藥店化粧品店にあり

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百廿五萬圓
株式會社　第一銀行京城支店　京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取　男爵　澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

日本一強く温かい　コールテン天　鬼足袋　強き事鬼の如く　染色の堅き事鐵棒の如し
發賣元　東京市日本橋區小傳馬町　寺田淳平商店　電話浪花三八〇番・二八〇〇番　振替東京八三六七番
特約販賣御希望ノ方ハ御照會を乞ふ　見本壹足金四十錢（郵券不苦）

食料品雜貨　消酒醬油　果實罐詰　海產物一式　問屋　本場みかん（毎日數噸宛入荷）　京城旭町一丁目　岩城醫商店　振替京城一〇六　電話八百四番

冬ふ血を増せ體を肥せ　植木でさへも寒肥し　次亞燐入むの能造強壯　本舗　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛

內科　小兒科　入院隨意　京城日出小學校前　多々見醫院　院主　醫學得業士　多々見五郎　電話九四〇番

粉末　錠劑　レスピラチン　特許
本劑ハ佐多、坪井、緒方三醫學博士神中醫學士等ノ實驗證明
適應症　肺結核、肋膜炎、百日咳
特約店　大阪　武田長兵衞　小野市兵衞　乾　東京　三共株式會社
梅毒新藥　頭瘡藥　丹

合資會社　大阪化學研究所　大阪東區内平野町二丁目　振替大阪六〇九八　東京一六八六五
●全國到る處の藥店にあり　說明書無料進呈

Mゴム印　三田土ゴム製造合名會社製造　賣行盛に倍々發展
數ある中をM印は特に撰ばれて長き途に御買上の光榮を得たる最優良品と御記臆を願ます
發賣元　大阪唐物町四　飯田商店

滿蒙處分論　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行	油頭丸	十二月廿六日	午後五時
×溫州丸		十二月三十日	午後出帆
×漢城丸		十二月廿二日	
○木浦、釜山、長崎行	安東丸	十二月廿四日	午後二時
▲城津丸		一月二日	出帆
×○鎭南浦、大連行	安東丸	十二月廿二日	午後二時
城津丸		十二月廿八日	出帆
×◎鎭南浦、龍岩浦、安東縣行	潮州丸	十二月 日	正午出帆
◎大阪直行	天佑丸	十二月 日	後五時出帆
○群山、釜山、濟州行	千珠丸	十二月廿二日	午後四時出帆
△チヨイサン丸		十二月卅日	
○大連直行	千珠丸	一月七日	正午出帆
△チヨイサン丸		十二月廿五日	
○淸津、浦潮行（元山出帆）	久宮丸	十二月廿八日	午後三時出帆
▲地神丸	大智丸	一月二日	
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）	湖北丸	十二月廿六日	午前十時出帆
安平丸		一月十日	

御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運輸切符發賣仕候　○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番　京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八〇番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸	十二月	日	午後四時出帆
若代丸	十二月	日	午後四時出帆
土海丸	十二月	日	午後四時出帆
大有丸	十二月	日	後五時出帆
第二太湖丸			

仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

第一共同丸	芝罘、大連行	十二月廿四日	後二時
第三共同丸		十二月廿六日	前九時
第一飛鶴丸	城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）	十二月 日	後九時出港
第三共同丸	西湖津沿岸各港を經て雄基行	十二月 日	前八時出帆

同波國共同汽船株式會社　仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行	立神丸	十二月廿一日	後五時出帆
○元山浦淸津浦鹽行	立神丸	十二月卅日	後十時出帆
○門司、神戸、大阪行	小倉丸	一月 四日	後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行	小倉丸	十二月廿三日	後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行	第三琴平丸	十二月廿一日	後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行	第三琴平丸	一月 一日	後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行	天與丸	毎月三日九日十五日廿一日廿六日	午後十時出帆

釜山本町　大池回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行	相模丸	十二月廿七日	正午出帆
	高砂丸	一月三日	正午出帆
	竹島丸		正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆

全羅丸		十二月 三日	釜山發
京畿丸		十二月廿四日	
黄海丸		十二月廿八日	
成鏡丸		十二月	
穩城丸		十二月	元山發
昌平丸		十二月廿三日	
鏡城丸	元山より各港經由雄基行	十二月廿五日	
平壤丸		十二月 日	元山發
忠淸丸	城津、淸津、浦鹽行	十二月廿二日	元山發
永興丸	北久味、五里浦行	毎月廿八回	元山發
嘉島丸	甘浦、九龍浦、浦項各港寄港行	十二月 日	釜山發
江陵丸		毎 日	釜山發
雲陽丸	長生浦、方魚津寄港		浦項發
三浦丸	長承浦、舊水、巨文島、濟州島各港行	十二月廿二日	釜山發
統營丸	各港經由麗水行		釜山發
海州丸			
巨濟丸			
慶寶丸		毎 日	釜山發
順天丸	各港經由麗水行	三日目毎	木浦發
慶興丸	各港經由濟州島行	十二月廿三日	木浦發
公州丸	南多島海列島行	十二月廿二日	木浦發
公州丸	各港經由	十二月	日 木浦發
宗信丸	海州他各港經由鎭南浦行	十二月廿四日	仁川發
江原丸	芝罘、大連、青島行	十二月	日 仁川發
麗水丸		十二月廿一日	仁川發
晋州丸	各港經由木浦行		
全州丸		毎日午前	仁川發
南陽丸	江華島、喬桐島、海州行		
平安丸		十二月 日	群山發

本社　京城南大門通　電話　松原運送店

京城日報
二十一日朝刊
(第二千九百七十九號)
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 松口政太郎
發行所 合資會社 京城日報社
京城太平通一丁目

大阪株式特電 第三版

仁川米豆取引所

朝鮮の先史民族

八木奘三郎

(丙)古墳

北米合衆國の東方、北太西洋に近き方面にオハヨー州と稱する一州有り玆を中心として其周際の地方にはマウントビユルダーと呼ばれし、高大なる墳墓を築造せし一種族居りし彼等は純乎たる石器使用の民族なりしも、斯く偉大なる墳墓を作り、後歐洲人に接觸するに當りては漸次に金屬の用途を知り、其生前の金屬具は倶に墳墓中に埋葬せし實例有り、又歐洲の地は諸民族の蕃延甚だ古き場所と見えて先史時代の墳墓は其種類と分量と倶に甚だ多し、然れども東洋には嘗て此種の遺蹟を見出さざりし爲め、從來斯道の學者間に於ても其もの絶無なる可しと思惟せしが如く、又予輩も始は斯く信じ居たる一人なるが、壯年朝鮮研究の爲め、八道を巡回するに當り、屢ば鮮人の所謂撑石を實見して其構造上最古の遺跡と認定し、爾後其民族及び時代等を明にせんと欲し、多少の苦心を重ねしも、遂に素志を遂ぐる能はず、常に遺憾に堪へざりしが先年偶然の機會を得て此中より石器人骨等を發見し、又知人より掌石内の石器遺跡たることを確定し得たり、今や此稀有なる遺跡の存在する朝鮮の地は我領土に歸し、東洋に此新事例あることを廣く學界に紹介し得たるは單に予等一二人の喜悦に止まらず、實に國家の誇りと稱す可きものならん、予は是等の遺跡を京畿道以西にのみ發見して、其東南若くは北部に於ては嘗て認めざりしにより、在京の際其事實を中央學界に紹介せしが當時江原道春川地方には蟻塚と稱する者有りて、其事某外人の記事中に見ゆる由を知り、或は右も掌石の類にあらずやと考へ、其旨を文中に附記せしが、今回鳥居君の調査を聞けば彼方面にも掌石現存せりと云ひ、又稻田春水君の談には咸鏡道地方にも多少似寄の遺跡ありとの事明となれり、其他忠淸、全羅、慶尙道の一地方等にも散點する模樣なれば先づ此の遺跡は八道を通じて孰れの土地にも存在する次第なるが、其數の多少は地方に因て異同あり、又築造の有樣即ち形狀の如きも多少の相違あれば理解に便する爲め左に其種類を表示す可し

撑石の種類
一 石棚存在の掌石
二 積石塚の掌石
三 長方形最厚うは石並に受盤附の掌石

表中の第一は歐洲に於けるドルメン式のものにて、第二は同ケイルン式のものなり、而して第三は未だ他に類例なければ何と命名す可きや不明なり、勿論第一第二は確に石器を出せども第三は石器の存否明かならず唯だ全羅道方面にて石器時代の遺跡地に偶ま此ものゝ存するに依り、或は二者互ひに關係あらんかと云ふの推測に過ぎず、然れども歴史以後の古墳には嘗て此種の類を交へざれば略ぼ先史時代の遺蹟たる事は推考し得可し、又過般鳥居君が扶餘地方にて發掘せし分は上部の蓋石已に取り去られしにより、今日原形を知る可からざるも、其石槨は吾人間に所謂阿波式石棺と稱する組合せの作なりしが如し、是等は前記の第一に屬するや、將た他の形式なるや判然せざるも、要するに天井石の存せしは充分推定し得可きにより大體に於ては右の部類と見て大差なかる可し、次に表中の第三は厚さ四尺以上の長方形なる大石を置き、下には間隔を置きて上部の大石を支ふる爲め幾個かの小石を並列せしものにて其狀宛も長方形の木枕下へ平撰栗位の小石を周縁に點々並べ置て上部の石を支へたるが如き風なり、而して下石の高さは二尺内外に過ぎずと云へば其間の空所は至て淺きことを知る可し、以上の外猶細微の點は一々玆に記述する必要なきも何にせよ此種の遺跡は浩々たる東亞の大陸中未だ嘗て他に見出せし實例なく、僅に遼東に一二の稍や似寄りたるもの有ると、且つは石器を出す古墳あるとに過ぎざれば歐洲の分と關係あるや否やは固より知ること能はざれ共、其類似は多少の興味ある可く、以下參考の爲め其二三の例を云ふ可し

石器天降說に就き八木氏に質す(上)

小松綠

京城日報記者足下

貴紙に連載せられつゝある八木氏の『朝鮮の先史民族』と題する研究は、門外漢と雖も趣味と實益とを以て精讀審思するの價値あることを疑はず吾輩が僭潤を提起するも、畢竟氏の學殖識見を尊重するが故に外ならず言辭の不遜に涉るものあらば全く無意の過失のみ豫め諒恕を仰ぐ。

氏は石器天降說がブリトン族にも又東洋人中にも行はれたる實例を擧げ遂には此の半島の昔にも同說ありたりとて『青坡劇談』の一節をも援用せられたり、今其の目的は那邊に在りやといふに『吾人は其の(石器天降)說の可否を論ずる必要なし』と謂ひ而して更に、此の說を以て『偏見に非ざれば、歴史に暗しとの誚を免がること能はざるなり』と斷定せられたり、其の語氣より察するに、氏は石器天降說を以て荒唐無稽の迷信に過ぎざるものと認め、其出處理由の如きは概乎として一顧をも與へられざるが如し、學者としては少しく輕忽の譏を免るゝ能はざるに似たり。抑も氏が援用せる『青坡劇談』の一節は寧ろ陰隲の理に能く石器天降說を解釋して後の學者の蒙を啓くに足るものあり、今考究上の便宜を急ひ左に八木氏の譯文を再録すべし、

星隕て石と爲り、雷震して石を得る刀の如く斧の如し、其形琢の功固く偶然にして成るに非ず、良匠の老手を經るに非れば成ること能はず、豈天地造化の能、自然神妙迴に人爲に出る者か、誰か謂ふ天上にして物有り、自然に此の如き者かと、凡そ天地間自生の物は、草木の花の如き巧妙ならざるに非ず然れども陰陽の精を借て、一時榮を敷き、華を發する者と爲すなり、金玉土石に至ては、人力を借るにあらざれば則ち巧を成すこと能はざるなり、若雷斧、雷劍に於て、竟に其然る所以を知る者なし以て其博雅の君子に竢つ。

序ながら八木氏に注意す、氏は『此の文、語を成さざる點あり『迴出人爲者乎』とあるは『迴に人爲の外に出る者かと爲さゞるを得ず』と訓ける、も氏の訂正の方却つて文を成さず、原文の通りにて解し得べし、蓋し其の意は『造化の能、神妙にして迴に人爲に優越せり』といふに在りて、對照の義なり『人爲の外に出ず』てふ意味に非ず、若し氏の思ふ如くたらんには迴は贅字にして更に於字を加ふるを要す、即ち『出於人爲者乎』に作らざるべからず、尙ほ序の序に附言すべし右の文中にある『雷震して』は當さに『雷震うて』に作るべく『固く偶然にして成るに非ず』の『固く』は『固』よりと讀むべく、『誰か謂ふ』は原文には『孰謂』とあり、又『其博雅の君子に竢つ』は原文に『竢其博物君子』とあり、博物が妥當なるが如し、なまじ訂正せざる方賢明なるべし。文字の末を糾すは、兒戯に似たりと雖も、是れやがて學者の研鑚は宜しく微に入り精を穿ち苟くも忽諸に流るべからざることを誡むる所爲なりと知るべし。

新春の京城日報

新年號七十頁

我社は大正五年一月一日歲の改まると共に更に大活動を開始し專心紙面の改良發展に力を致し面目一新以て讀者に見えんとす

大正五年の本紙が如何に面目を一新して讀者に見ゆるかは之を新年號に於て試驗せられんとを望む、紙數實に七十頁敢て紙幅の尨大を以て誇らんとするものにあらず其實質の雄大健實華麗を以て半島大新聞の權威を示さんとす。記事に於て材料に於て寫眞繪畵に於て編輯法に於て正に是れ新聞界に一新紀元を劃するものなるを確信す

電報欄の擴張

從來と雖も内外各地の電報の多きは本紙の特色とせる處なりしも大正五年より一層電報欄擴張の必要を感じ内外各地に特派員通信員を增置し電報料を吝まず特殊の材料頻發の事件悉く之を急電に依りて報知せしむる事となせり乞ふ刮目して新春以後の本紙を見よ

議會覗き

東京支局 一記者

氣樂院の貴族院も直接自家の頭上に大關係ある華族世襲財產法の改正案が附議されるとあつて十七日の議場は稍や緊張する▲目賀田男の議論的質問に對して大隈首相質問の要點をスッポカして諄々と華族品位論を始める▲焦れ込んだ目賀田男『首相では判らぬ尾崎法相の說明を求む』とやる▲法相もさる者『只今首相の答へられたる通りに存じて居ります』と濟ましたものだから問題にならず目賀田男が聲を嗄つて掛ると▲法相だうノ\例の辯を出し『議論は議論として……』と一寸嫌味をいふ▲目賀田男赫となり『司法大臣は本員の質問中如何なる點を捕へて議論といはるゝか』と大喝する▲借てと詳しく議場少しく景色ばんだが法相は泰然として『私が議論と申すのに議論でないといはるゝのが即ち議論であります』と來る▲坂本釤之助君が遞信所管に關し何やら質問に及ぶと箕浦遞信大臣隔に端然と納まつたまゝ何が議事に上つてゐるかといつた風▲生憎政府委員が一人も居らぬので凡そ三分間も答辯する者がない▲たうノ\一屬官が馳せ付けて書類を遞相に渡すと遞相ノソリノ\と登壇、後生大事に其を讀み上げて悉く箕浦式を發揮に及んだ▲衆議院では豫算分科會に移つて愈々正副參政連が組上の魚宜しくチクリノ\と試し斬りをやられる幕となる▲第一分科では肉杖發官以來兎角無聊に苦しむ大隈副參政が始めて政府の御用を承つて領事館設置參考用の地圖を配附して廻る何んのことはない勅任官の高等ボーイ▲第二分科で藤澤參政入智慧をする爲め時々一木文相に耳打ちをするはよいが▲あの圖體で破鐘のやうな聲を立てるので折角の秘密計畫は殘らず筒抜け▲第六分科で木下參政が行儀惡く椅子に凭れ荒川副參が岡田式靜坐法で納つてゐたのは好箇の對照(十七日記)

京日詩壇

○雪月寄田碧石　岡山　牧雲

身世相違奈感何、時看孤雁掠雲過。曾供淸賞禪房月。空識新愁渤海波。人在東西心起滅、光無今古影婆娑、秋風恨徒離觴飲、間吟册樂事多。

評曰 詩筆淸酒、巧狀幽趣、付供淸賞禪房月何等佳句、余亦辱其厚情者、一讀生蕭颯、

○復牧雲禪師次韻　成川　碧石

孤影蕭蕭奈我何、竹無一客歎厖過、拋吟箪山明月、未涸塵纓湖上波、堯去忠州霸田單、驚來往。錫飛遊左傑坐婆、清光今夜秋分好、起候禪房噉語多。

評曰 風神淡雅、兩聯非不佳、殊於起結見妙、

○寄京城故人　岡山　牧雲

關東州裏月三圓、夢繞南山北岳邊。慶有餘新進境。故人使我憶當年。

評曰 眞情見行間

日報俳壇

雉子郞選

雪

雪を掃く我影落す旭出たり　三餘
茶を飲みて法師獨りや雪月夜　同
求むるゝ迄遁れや雪慕ゐゝ　同

寒月

渡舟凝て喚ぶ犬吠ゆ冬の月　未知男
寒月や圓に長き父の疔　同
寒月や大地に這へる楠の影　草の助

木枯

凩や何時の世よりの岩の龜裂　空螺
凩や道に根深き尖り岩　同
凩や馬傷つきて泊る宿　未知男
凩や瀧壷に棲む魚は何　星羽

山眠る

山羊飼ふ支那人安し山眠る　未知男
土偶師の窩なる村や山眠る　同
眠る山の總荒れたる臺所哉　三餘

十夜

山坂や提灯を追ふ十夜人　潮外星
淡き灯や動かで並ぶ十夜顔　幽谷

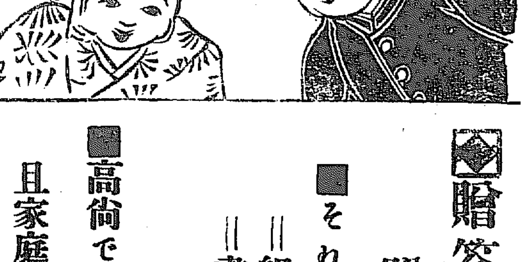
入營

だぶ服の一兵卒となりに兇　青奴
入營の第一番や飯を焚く　青村

炭

炭燒の兄弟親に仕へけり　雲帘
闇に打てば炭さんくに碎け鳧　幽谷

□冬の句を募る　京城明治町三丁目五番地 備井東村宛投稿の事



■贈答用品中の贈答品は何？
■それは
＝組合せ文房具＝
＝書翰箋の箱入＝
であります
■高尚で優美で
且家庭實用向■

此の組合せ文房具は
「第一高尙で呈した方の品位あるもの
第二實用的で受けられた方の滿足せらるゝもの」
◎昨年に經驗して本年は其組合せを愈々改善し如何にシノサキが文房具に熱中し居るかを御求めの上御批評あらん事を冀ふ

「組合せ文房具の内容は
學校用品
机上用品
家庭用品
旅行用品」の四種
値段は三十五錢以上何程にても御好に依り組合せて差上申候

京城本町一丁目
文房具　シノサキ本店　電話六四八番
紙類 同 二丁目
帳簿　シノサキ支店　電話七〇五番

■兄妹のよろこび■

文雄君と妹のしほり孃は目を丸くして何か比較するやうな顏付である、夫れは子供の記憶と言ふものほど恐しいものはないので、昨年の暮にお隣りから頂戴した、シノサキ製の組合せ文房具と、今年のとは筆筒の格好から其模樣まで、裏の宜いのと筆の改善せられているのと、封筒上品さ加減まで昨年のとなら違つている夫れで此の兄妹が彼れも此れも宜いね！とサモ嬉しそうな顏をして比較しているのが其所で兄の文雄君は何時迄も比較して居ても居られないで學友に年末の贈りものとして此のシノサキ製の組合ひ文房具を選定したが、しほり孃も兄さんに負けずに、相當なのを組合せて買はれたのである、世の中が文明になればなる程、御子供衆に至るまで、贈り物には文房具に目を付けられるのいたるものは此の時代の要求する文明的な器具を、差上げられたら受けられた方の嘻びは如何斗りであるらうか高尙なことは勿論で贈られる方の、其家庭の一班を受けられた方で其品位を識られるのである何うか本年も此のシノサキ製の組合せ文房具を御贈答品に御用ひあらん事を切に願ふのであります。

第三十七回帝國議會

衆議院(二十日)

▼裁判所名改委員會

裁判所名改名案委員會は二十日午前十時二十分開會坂田政府委員より本案は去る四十年朝鮮總督府裁判所令の改正と同時に提出すべき筈なりしも政變等の爲め其の運びに至らざりし次第にて其内容は全く朝鮮總督府裁判所令の改正に基づく五十一號法律中に記載しある裁判所の名稱を變更せしに外ならずとの説明あり是れに對し二三の質問應答ありて異議なく原案を可決し散會せり(東京特電)

○花井副議長辭任内定

後任者は中正會の大竹貫一氏乎

既電の如く辭表を提出したる花井副議長は一應之れを政友に諮るべく十九日中正倶樂部幹事と會見し予は予を推薦したる諸君と政見を異にせり依て辭表を提出したれば幸に諒せられたしとの意味の言辭を述べて退去したれば幹事等は協議の上打揃ふて花井氏を自宅に訪ひ辭意を飜へさんことを力説したるも花井氏は初志を飜へさゞるより結局二十日代議士會を開きて其顛末を報告することに決したるが夫れ迄は辭表を書記官長の手許に保留し置くことゝせり而して同氏の辭意牢固たるものあらば已むなく後任者に大竹貫一氏を推すことゝなるべしと(東京特電)

△別報

中正會にては二十日正午より院内控室に於て代議士會を開き尾崎法相、花井副議長以下二十餘名出席加瀬幹事より花井副議長の辭職顛末を報告し花井氏より簡單に事件の理由を説明し協議の結果同氏の辭任は已むを得ざるものなれば之を聞き届くることに決定し散會せり(東京特電)

○政友會の議長彈劾案

政友會は十八日衆議院本會議々事中未曾有の紛擾を惹起せしめたるは島田議長が議長整理の能力なきものと認め近日友黨と協議の上不信任決議案を提出して島田議長を彈劾することに決せり(東京特電)

○公友幹事會

公友倶樂部にては二十日午後一時半院内に幹事會を開き副議長後任問題に關し協議し且つ武藤金吉氏其他の懲罰は可成重罰を科する件を協議し小山松壽氏は國民黨の犬養氏と會見し武藤氏除名處分の同意を需めたるに犬養氏は武藤氏丈を除名するは反對なり當日の議場に對しては議長の責任も輕からず又同志會議員も亦騷擾の相手たりしに於ては之れも同じく懲罰に附すべしと答へたり(東京特電)

○敵軍計畫敗る

優勢なる敵の一部隊はズブノ及びイタヴァ河への通路占領の計畫を以つてムノリフ及びツブノ間の本街道に位る村落ヴイツキノを攻撃せり是等の行動は敵が頭來ピンスクの南方プリピアチ河に沿ひテルニネツの方面に向ひ廣大なる前線に亙りて進撃せんとしたる行動とは直接關係なきも消息通の意見に依れば其の終局の目的は同一にして即ちパラノウイチルニネツ及ロヴノ間の鐵道を奪取せんとするにあり右二回の攻撃は露軍の爲め擊退されたるが敵は三個月の努力の結果其の軍隊及び軍需品の運輸に緊要なる鐵道を手に入れんとして遂に失敗に了れりと(露都電報)

○蜂須賀氏以下叙位

二十日午前十時宮中に於て叙位式を行はせらるる其の重なるもの左の如し(東京特電)

式部官正四位 蜂須賀正韶
正四位 鍋島直暎
正四位 檜垣直右
正四位 渡邊暢

叙從三位(各通)
朝鮮駐劄軍司令官陸軍中將正四位 井口省吾
勳三等男爵 古河虎之助

叙從五位(各通)
勳四等男爵 森村市左衛門

○海軍機關學校卒業式

横須賀海軍機關學校に於ては二十日午前十一時より同校二十四期卒業式を擧行せり御名代東伏見宮殿下御臨場松村侍從武官は優等生福池秀雄、渡邊光彦、時津三郎の三氏に對し恩賜の短劍を傳達し殿下には式終了後御機嫌麗しく御歸還あらせられたり(東京特電)

雜報

○即位祝賀と告示

最近南滿より歸來者の談を聞くに十二月十二日段上將軍より十二十三十四の三日間君憲告成祝賀の爲め各官衙の公務を停止し且つ京内外各商埠官民に通飭ありて懸燈結彩し慶祝すべしとのことにて道尹は大なる告示を爲し「大總統登基祝」云々と記載せりと

○支那新國旗未定

支那帝政實現に伴ふて年號は目下選擇中との事なるが國旗に就きても國旗は仍ほ五色制を用ひ上に紅光を顯すと云ひ或は黄色の圓月に五色の彩星を染出せるものと云ひ其説區々にして要するに未だ全く確定せざるものゝ如し

○帝政と奉天令達

某所著情報に依れば奉天段上將軍は道囘管内道尹を經て各縣知事に對し大典籌備處より通飭知照方令達し來りたる帝政に關し擬定せる左記要款五箇條を移牒せりと

一、國號を中華帝國と定む
二、年號は該處に於て議選したる其内より圏出す
三、國旗は仍ほ五色制を用ひ上に紅光を缺す
四、服制は仍ほ文官は大禮服武官は制服を用ふ
五、禮節は仍ほ現制を用ひ跪拜の禮を用ゐず

○林業試驗の成績

既往の功果と明年度の計畫

朝鮮の風土は内地に比し著しく相異せる爲め森林山野荒廢の進度、治水及び農收等の關係並に適良森林樹木等は内地と趣を異にするもの多く、從て殖林事業上試驗及調査を要する事項尠からず、仍て大正二年度に於て京畿道高陽郡延禧面及び抱川郡蘇屹面光陵の二箇所に林業試驗地を設置し、總督府に於て先づ急要の試驗を行ふことゝなれり、即ち京城試驗地に於ては主として内外樹種の適否、生育の狀況及び砂防植栽に關する試驗を行ひ、光陵試驗地に於ては主として天然林の更新樹林下に於ける養苗と人工下種及び普通

▲荒廢山野の殖林に關する試驗を行ふことゝなれり、而して大正三年には從來經常費の一部を以て行ひ來りたる野生植物調査事業を擴張し試驗事業の一部として行ふことゝし、森林樹木、食用及び救荒、工業、有毒、藥用及び飼料の各植物編纂する目的を以て農業の採集方を水原農林學校外各道の普通學校十二校に依賴し、一方植物分布上重要なる地域に對し專門家に實地調査を囑託せり今各種事業の概況を略述せんに京城試驗地に於ては大正二年には用地の開墾及び整理四町歩餘、苗圃の施業五反歩餘人工製林地二町七反歩餘の地拵等を、大正三年には苗圃の施業三町歩餘及び造林三町四反歩餘、本年には土地改良一町五反歩餘、苗圃施業三町二反歩餘、造林二町四反歩餘の試驗を行ひたり、又光陵試驗地に於ては大正二年には普通

▲苗圃用地の開墾二町歩餘、林間及び樹下苗圃用地の開墾三反餘、林内苗圃の施業一反歩餘、天然造林二町七反歩餘、人工下種造林一町五反歩餘及び造林地の地拵一町五反餘を、大正三年には普通苗圃の施業二反歩餘、林内苗圃の施業一反歩餘、造林一町六反餘を、大正四年には普通苗圃及び林内苗圃の施業前年に同じく造林七町五反歩の試驗を行へり、其著手せる試驗事項中成績を得たる主なるもの左の如し

ニセアカシヤ播種と被土との關係
ニセアカシヤ硬實種子の處理及び發芽促進法
クヌギ播種と播種量との關係
白楊類の挿條方法
プラタヌスト挿條方法
ニセアカシヤと種粒と日疑との關係
テツセンカラマツ播種と被土との關係
テツセンマツ除存と苗圃種との關係
テウセンマツの播種方法
テムセンマツ及びテウセンモミ天然苗採集と植付季節の關係
ドイツタウヒの防寒裝置に就て
テウセンモミ播種と苗圃種との關係

野生植物調査事業中、學校に依賴せるものは未だ

▲具體的調査の域に達せざるも總督府囑託中井理學博士をして調査せしめたる結果は大正二年以來濟州島、莞島、智異山附近、鴨緑江、豆滿江の流域、平安南北、京畿各地方に於ける臘葉の採集約一萬點に達し概ね好成績を以て進捗しつゝあるのみならず大正二年中には濟州島、莞島植物調査書及び森林樹木篇中樺木科、大正三年には樺木科、殼斗科及び智異山植物調査書、大正四年には櫻桃科、繡絲菊科の編纂を終へたり、而して以上の中、濟州島、莞島、智異山の各植物調査書等は大正三年中に印刷に付し主要官衙學校へ配布したるが其他も亦順次印刷配付の計畫なりと、次に大正五年度に在りては前年度の事業を繼續して試驗及び調査を重ぬる方針なるが唯新に京城林業試驗地事業所の新築費を豫算に計上したりと

○桑園增殖進展

各官署の桑苗配付數

桑園の増殖は蠶業發達上緊要缺ぐ可からざる急務なるを以て總督府にては從來勸業模範場又は種苗場をして桑苗の育成配付を爲さしめ來りしが時代の要求は到底同場に於ける配付のみを以て滿足せず年と共に其配付希望數益々增加するが故に、補助金を地方費に交付し以て桑苗の育成を獎勵し更に明治四十四年度より大正三年に至る四箇年間京畿道始興郡新東面蠶室里に桑苗圃約十六町歩を設置し、勸業模範場をして其經營の任に當らしめ同時に從來の桑苗圃と相俟て大に桑苗の育成に勉めり、又地方廳に於ても地方費又は授産費を以て桑苗圃を設置し桑苗の育成に從事すると同時に其補充として桑苗の購入配付を行ひ以て桑園の增殖に努めつゝあり、今併合以來各官署の桑苗配付數を示せば左の如し

年度	勸業模範場配付 千本	地方廳配付 千本	合計 千本
明治四十三年	[illegible]	一、一〇二	一、三〇一
明治四十四年	一一三	二、一三六	二、二四九
大正元年	一九四	六、二三三	六、四二七
大正二年	二三七	二、八四八	三、〇八〇
大正三年	四四〇	一〇、五五四	一〇、九九四
大正四年	三二九	一三、一三八	一三、四六七

尚ほ此他地方廳に於ては地方費若くは授産費を以て蠶業開發上須要なる地方に桑園を新設して桑樹栽培の方法を一般に示さむとする者に對し補助金を交付し以て確實に桑園增殖の實を擧げむことに努めつゝありと

○米油輸入と邦油

歐洲戰の區域擴大に連れ船腹益々不足を訴へ流石に石油王たるスタンダードの如きも開戰以來盛に戰地に向けて輕油の供給を爲しつゝあるも恰も無限の需要に應ずるに等しく船腹の苦心亦一方ならず爲に比較的靜穩なる東洋方面の手を拔き之れが調節を計りつゝある如く日本及び支那方面は品切れを告げざる範圍に止め居れり又ライジングサン石油會社は南洋産タンクの輸入を切り詰め殆ど形勢傍觀の姿なり去れば外油としてはスタンダードあるのみにて而も歐洲戰は當分平和の望みなき者とせば如何にスタンダードの勢力を以てするも從來の偉力を振ふの餘地なかる可く此等の關係にて過般來内外油は數回値上げを實行せる次第なるが一方内地油は近時産出量に於て著しき增加を示すに至らざる爲め本年七月頃迄は内外四社を通じて表面協定を維持しながらも事實は建値より三十錢以下を賣出し居りたるが其後漸次建値斷行を迫り去る十月頃に比し建値より三十錢高を告げ全く各社の發表の如く建値タンク油三圓九十二錢虎印三圓八十七錢黑一羽印及び寶玉印三圓八十二錢を取引する事となり更に過般來五錢高を發表したり之れにより日石は月産二十萬函に對し十月以後は差額のみにて毎月七萬圓を利し寶田は四萬五千圓以上を利する計算にて更に總收益より見るときは寶田一割五六分日石二割四分以上の配當を爲し得る見込み確實なりと尚ほ近時鉱力板暴騰の爲め來春三四月頃には新鑵一本に付二十錢高なるを以て二函に付四十錢の値鞘を生じ其上製油材料、苛性曹達、亞鉛其他の品奔騰し居るを以て來春に至り米油の輸入減退を持續せんには内地石油の五十錢高は近き將來に實現すべき形勢にて昨今内外油當事者間に於て値上げの交渉中なり(大阪)

○京城商議總會

通譯入りの長會議

京城商業會議所第一回總會は既記の如く二十日午後二時半より開會何日もならば小一時間位の遲刻は何んでもないことなれど流石に當選後第一回の總會のことゝて約三十分間にて旅行又は疾病者を除くの他の三十六名は全員出席相互に當選を祝しつゝ祝されつゝしながら階上の會議室に入り關繁太郎氏を座長に推し開會す

▲創立經過報告 先づ大村書記長より今回京城會議所創設の顛末に就て逐一報告する所あらんとするや古城龜之助氏は吾等は何の資格に於て此報告を聞かんとするやと先づ第一聲を放ち大村書記長との間に議論を鬪したるが池田長兵衛氏の中和說にて單に一場の報告を聽取することに止め三十分間にて終了、其より抽籤にて議席を定めたる後役員の選擧に移る

▲正副會頭選擧 會頭には從來の關係上滿場一致を以て選擧の手續を履ます原田金之祐氏を推薦したしと云ふ林田金次郎氏の動議にて一同異議なく贊成更に副會頭二名の選擧に移る此副會頭の入選に就ては既報の如く幾多の經緯を經來りたるものなれば滿場一致にて座長の指名など、提議する者は一人もなく形の如く投票を行ひたる結果西村道彥氏十一點、岡正矣氏九點、關繁太郎氏三點、天日常次郎氏一點(無効二點)にて西村氏遂に當選同氏も之れを承諾し確定し朝鮮人側は趙鎭泰氏十四點、韓相龍氏七點、白完爀、金漢奎氏各二點、洪般柱氏一點にて趙氏に當選確定したり

▲常議員選擧 次で常議員四名(内地人三名朝鮮人一名)の選擧を行ふこととなり投票の結果林田金次郎、釘本藤次郎、關繁太郎、韓相龍の四氏當選し確定したるが此常議員中從來必ず其内に加へられたる天日常次郎氏の落選したるは一同の頗る遺憾とする所なりと云へり之れにて大要を終り新會議所としての内容整ひたれば副會頭西村氏鮮人側と交渉の末會頭代理として議長席に就き、定款、議事細則、處務規程、給與規則等の贊成を求む一同異議なく可決次で本年度豫算を附議せんとしたるも一應委員に附托して審議するの必要ありとし天日、池田、林田、佐野、趙鎭泰の五氏を擧げ二十一日中に調査を行ひたる上二十二日中に午後二時より再び本會を開き報告することゝし決定六時散會せり

○記念章授與期

總督府人事課に於て調査中なりし大禮記念章授與者は既に全部結了を告げ總督の決裁を經て疾くに宮内省賞勳局に上申したるが過般饗饌を賜りたる七千餘名は拜受の恩典に浴す可きこと勿論なるも此他大禮事務に干與せる功勞者二千餘名の中遠者中拜受の恩典に浴し得可きもの幾何なるやは賞勳局の審議を俟たざる可からず、兎に角記念章の愈々授與さるゝ迄には猶ほ多少の日子を要す可く之れが發表は早くとも明春ならむと

○府稅滯納狀況

京畿道管内京城仁川兩府本年度所屬分府稅滯納狀況を聞くに滯納人員總數十四萬二千九百九十三人にして之れが滯納稅額は十四萬八千七百五十一圓三十錢なりと而して之を諸税別に見る時は特別戸別税は人員四萬九千五百七十一人にして滯納税額一萬五千七十二圓五十一錢營業税は人員二萬三千七百五十九人にして税額は五萬五千二百六十五圓七十三錢戸別税は人員一萬四千三百六十七人にして税額は一萬百七十九圓九十一錢雜種税は人員八千五百十二人にして税額五千百三十四圓五十九錢同目税人員三千九百七十九人にして二萬三千九百九十六圓十三錢同目税人員六十五人にして税額七圓六錢地税附税は人員二萬二千六百七十六人にして税額は二萬二千圓四十三錢家庭税附加税は人員一萬九千〇二十四人にして税額は壹萬六千五百八十圓四十九錢民團未收金は人員二萬三千五百十二人にして税額は貳萬五千八百二十二圓四十五錢なりと

○仁川商議役員會

仁川商業會議所にては十九日午後七時より同所に於て役員會を開き大正四年度決算報告商業會議所朝鮮聯合會報告、特別會計穀物檢査部大正四年度決算報告新會議所設立費一時借入金の件等を附議し午後九時閉會せり

●成西輕鐵假運輸開始 成興炭鑛會社經營の成興西湖津間輕便鐵道は頃日竣工和田技手鐵道局より出張檢査の上二十日より假運輸の開始を爲せり

人事消息

▲吉原東拓總裁 二十日夜歸京
▲伊澤道雄氏(九州鐵道管理局副參事) 朝鮮鐵道視察の爲め廿日朝入京
▲松寺京城地方檢事正 司法官會議列席の爲め東京出張中の處十八日歸任
▲花田公州地方法院長 同上

東京發別電 … 閣會を開きつゝあり …

●行路病者ご詐る 本月二…方にて取敢ず收容し置きたるに付…知人より現金四圓を借り受けて無斷…には多くの賃金あれば其の金の盗み…までは面倒を見て貰ふつもりなり」…

歐洲戰爭實記 第四十六號(十二月五日發行)
主要讀物 カイゼルの誇大妄想解剖(プリンス博士) 獨英の教育及生活の理想(ボルムス) 飛行船で倫敦襲擊の實驗談 戰亂の科學及工學的觀察 巴爾幹諸國詳國(色刷) 口繪 博文館

一簿記一募集 私立認可 日本簿記專修學校 東京芝櫻川町十一番地

年末歳首 御贈答品 砂糖 樽入 袋入 切手 各種 京城本町一丁目 砂糖商 澁谷商店 電話七七一番

京都帝國大學教授 法學博士 蜷川新先生著(最新刊) 軍國主義 四六判美裝全一册三百十頁◉定價金一圓◉郵税各地金八錢 『世に戰はずして建設せられたる國家無し』『邦人にして若し英佛人等の怨言に囚はれて漫然軍國主義を厭ふ者あらば。そは彼等に追從する女々しき泣言也。若又獨逸の行動にかぶれて現時の獨逸のみを崇拜敬慕する者あらば、そは神洲の威信を輕侮する卑屈論也。本書は著者が愛國の赤心より我國民性に適應する軍國主義を述べたるもの…

東京高等商業學校教授 上田貞次郎先生著(最新刊) 戰時經濟講話 四六判美裝全一册二百四十頁◉定價金八十五錢◉郵税各地八錢 歐洲戰突發の當時英國に居合せたる著者の見聞に係る… 東京神田 富山房

歲暮 實用向で いきな お 卷紙封筒は 京城本町の 北内に 取揃て有ます 組合文具 箱の中に名刺無料印刷券挿入あり 御進物はお送り先へ配達致します

一にも愛情、二にも愛情

親が可愛がりさへすれば不良少年は出ぬ

近年不良少年の輩出するのは家庭の問題といふよりも寧ろ國家の問題である此に就て某教育家は語りて曰く『不良少年の不良行爲は種々雜多であるが其等の

■行爲の根底 になつてゐる通有性とも云ふべきものは第一親愛の情が正當に發達せざることと第二尊敬の情が正當に發達せざることとの此二つである何人に對しても親しむといふ感情が缺けてゐるから或は狎れ或は落著いた情愛を生ずることが無い又尊敬の感が鈍いから事々物々を輕蔑するか恐怖するかに終る斯る內的の缺陷はどうしても家庭教育で補はねばならぬ不良兒を出した責任は勿論學校にも社會にも在るだらうが第一は先づ家庭の責に歸せなければならぬ私の茲に家庭教育と云ふのは單に設備とか學課とかそんな事を云ふのでは無い子供に取つて更に大切なものは親子間の

■親密の情 である子供に取つての家庭といふことは殆んど親と自分との關係を意味してゐるのである少くとも此關係が家庭教育の中心であつて外の事情は凡て附從的の意義を有するに過ぎぬ上流の家庭などである子供には家庭教師を何人つけてあると云つて誇つたところで其反面に最も大切なる親子の親しみが疎隔せられて居てはなんにもならぬ子供はどうしても親の愛が直接に觸れて行かなければ美はしい情緒を養ふことは出來ないのである

■中流以下の 家庭では却つて親と子と密接する機會が多いので子供は絕えず親に親しむ心を養はれる親を親愛する子供ならば不良兒に變ずる氣遣は尠いと云つて好い斯う云ふことをしてはおツ母さんが心配する友達に誘はれて活動寫眞に行つても好いがお父さんに隱れて行つては氣が濟まぬから止めると云ふ風に萬事を親に對する親しみの情から割出して感ずるやうに育てなければ其子は社會の誘惑に捲込まれるばかりである之が不良少年問題を解決する根本義であつて只無暗に觸れさせぬやうにするのみでは其の解決とは云へない子供は道德的に考へて親孝行をするのでは無いが只親に親しむ感情から何をするにも

■親と一緒 が一番面白いと思ふやうになり親も亦崇高なる人格か道德的の感化とか八釜しい事を云はずとも只一點我子を愛する心から常に其子に接觸し感情的に我子を抱愛するやうにすれば不良少年問題は解決されたのである不良兒は初め大抵面白いから惡い事をするので惡いことの方が又面白いものである、然るに親の抱愛に依つて

■善良な情緒 を養はれた子供はそれほど面白い娛樂でも親に內祕でしては心の底に何やら殼りが出來て不快を感ずるのである、此の感情は親しみの感情が知らず〳〵の間に子供の意志を强め順次偉大な人格を築き上ぐる所の土臺になる、不良兒を絕やさうとするには體質、個性、社會、學校等の問題も考へねばならぬが其れよりも更に切實な問題としては親と子との關係を考へなければならぬと思ふのです』

歲末小景　お遣ひ物を買ひに

景氣のいゝ歲の暮

番頭さんの活々した惠美壽顏

押し詰つた師走の空は曇りがちでも昨今市中の景氣と來ては側で見る目も何んとなく氣持がいゝ樣だ、注文取りに走る小僧さんの顏にも番頭に據つて居る番頭さんの面にも潑剌とした氣分で溢れて居る樣だ、共證據には本町筋を素通りして見ても店と云ふ店には千客萬來で一寸した品物一つ買にも却々の事ぢやない內地では之を株式の暴騰や御大典の好人氣に原因を求めて居る樣だが京城も是等の理由も勿論あるが何しろ共進會と云ふ近年稀れな大催しもの、爲めに三百萬圓からの金が京城に落ちたと云ふが只さへ景氣な所を一層好人氣大景氣と煽り上げて來た者と見える

◆年末賞與 おまけに今年は月給取りの年末賞與も例年より二三割方多く大底月給一月分に對し十二三割の賞與があり搗て加へて共進會に關係した人々には特別の賞與があつたと云ふからには是等の金が帶となり著物となり下駄となり餅となつて市中に振り撒かれた日には大景氣なのは當然のことである宿屋の女中や、料理屋の仲居さては車夫人夫と云ふ手合が貯め込んだ奴をぽつり〳〵と出して費消と云ふんだから小僧さんや番頭どんの元氣なのも道理だそこで本町筋の二三商店を歷訪して『如何です景氣は』なんて聞いて見ると常時もなら『テーンとあきまへん』と來る所だが豈に計らんや『お陰樣でボツ〳〵』と仰しやる

◆吳服店 何んと云たつて御覽の通りの大人氣ですから御大典模樣の帶地や縮緬、羽二重、高貴、銘仙と云つた樣な可成値の出た品がドシ〳〵賣れますそして此御方がと思ふ樣な人までが丸帶を買つたり長繻絆や友仙、縮緬の繻絆の袖なんかを買つて行きますつまり昨年末よりも三割も四割も高價なものが捌けて行くのは不思議な樣です一寸した女中さん迄が襟一掛買ふのでも五圓札でおつりをと云ふ勢です『ヘエ――……』

お正月の盆栽（松に牡丹）

◆下駄屋 每年年末に贈答品として可成り賣行が多いのですが今年は二三割多い樣ですそれも矢張り本天の上物や空氣草履の二圓三圓と云ふ飛切り物が出る樣です京城は一體に履物と限らず何品でも上物が喜ばれるのですが今年の樣なことはありませんね

◆菓子屋 眞白になつた前垂掛でへエー毎度おーきになんテ御愛想を云ひながらエライ景氣ぢやおまへんかね、と大阪辯で今年は例年なら鏡餅一揃へと普通の餅が五升か一斗と云ふ所を內地米の極上でと注文が來るんですが左樣ちん搗きなら一斗五十錢米共なら二圓四十五錢乃至六十錢と云ふ所が相場の樣です大底二十八日頃迄納めるのが多い樣です

◆雜貨屋 デブ〳〵肥えた親爺さんへエンと咳拂ひしつゝ今頃賣れるのは進物用のが多いのですが何時もと異つて砂糖の進物一品にしても袋物より罐物箱物でも雲州の上物でなくちや御客樣が承知しなゐんですからしようが鹽物などになると今年しや全く景氣のいゝにや遊ひないでます鰹節の箱詰で二圓から三圓と云ふ所が却々に賣れますと何方を向いてもニコ〳〵の大元氣。

スケートの季節に入る

漢江渡船場の上手が凍つた

頃日來の酷寒で滿と云ひ小川と云ひ流れるものは皆凍る有樣だが漢江の水も凍り掛け鷺梁津への渡場の上手あたりは既に一寸五分から二寸の厚さこなり朝鮮人は十八日あたりから頻りに氷上渡江を初めたので鐵道局員中の氣早の連中は昨今滑走し初めた懸くて愈々京城もスケートの時季に入つたと云ふものだ

船場銀行事件判決言渡

大阪船場銀行事件に就き前代議士守山又三は懲役十年同じく前代議士岩崎安次郎は懲役一年と決し二十日地方裁判所にて判決言渡しありたり（大阪特電）

門口で男と女の大格鬪

廣島縣廣島市廣瀨町生れ當時京城西小門町曇洗濯業有田保次郎（三二）北海道石狩空知郡三笠山村當時西界洞有田方同居理髮業野口清吉（二六）の內保次郎は吉野町居住の際同町一丁目雜貨商松居某に對し雜貨代金十圓の負債あり同人より屢々督促を受るも返濟に窮しゐたるを以て一計を廻らし內緣の妻女中野もとに對し自分は龍山の某經理部より靴及び襯衣等の拂下品七十餘圓を引受けたる所其代金の內五十圓は既に納付したるも殘金二十圓を調達し兼ぬるに依り之が融通をなし呉れと申込みたるも同女も當時所持金なかりしかば借受名義の下に同女の衣類十三點を騙取し之を古市町の某質屋に十三圓に入質し內十圓は前記雜貨屋に支拂ひ他は自己の衣類を買入れて悉く消費したり然るにもとは度々保次郎に對し衣類の返濟方を請求せしも其都度旨く誤魔化して一向に埒が明かず催促の爲め十月二十六日午後九時頃もとは保次郎方に赴きたるに同人は不在にて前記清床屋職の清吉のみ居合せたるに對し同人と雜談の末安次郎の衣類を返濟せざることを罵りたるが原因にて清吉ともと爭論となり一先づもとは同家の門口迄立出でたるに清吉が居合せたる他の者に同女を惡罵したるを立聞きし直ちに引返してもとは清吉に喰つて蒐りし爲め玄に男女の格鬪となり清吉は穿きたる下駄を以てもとの左肩を强かぶん毆りて告訴せられ京城地方法院に於て保次郎は懲役六箇月（二年間執行猶豫）清吉は科料金十五圓に判決となりたり

無檢荷車にお灸

仁川府牛角里百二番地の一馬車輓業朴根義（三一）は去る四日午後三時三十分頃仁川海岸町斗燵場に於て無檢印の荷車を雇人金順ヒに使用せしめて告發され二十日科料金一圓に即決さる

◎曾木鐵骨氏の訃 骨で京仁操觚界にて名ありし曾木鐵骨舍木重高氏は亞米利加より先年新嘉坡に赴き同地にありしが去十一月二十五日同地にて不歸の客となりし通知ありしより京城の知人等は近く同氏の追悼會を催すべしと

◎憲兵司令部の忘年會 憲兵司令部員一同は廿一日午後六時花月に於て忘年會を催す由

臨時特別大興行　黃金館
大冒險大活劇　死の騎手　全五卷
肉彈も見惚るゝ大寫眞骸骨と裸美人の大活躍飛切りの放れ業
新派大悲劇　佐藤紅綠先生大傑作　人の親　全四卷

◎年額で買へる賣出し 京城本町二丁目ちよぼやにては年末の條例として來る十日より三十一日迄年額賣出しを舉行中なるが其方法は一週間內に一日づゝ年額日を抽籤を以て定め當選日には買上高の半額を割戾すてふ最も興味多き方法にて既に第一回の當籤日は十六日と決定し多額の割戾しをなし尙ほ十七日より二十三日迄に一日二十四日より末日迄一日の半額日ある由

◎丸一の景品追加 本町二丁目の丸一吳服店では景品五千八百三十點を一日からの顧客に進呈したところ桐の筆笥や上等の丸帶、銘仙、仙臺の火鉢等數々の大當りに怨ちにして全部の景品を出し切つたゝめ更に此程二千五百點十點を追加したりと

◎下川商店の大賣出 本町三丁目の同店にては宮內省御用醬油『ネニの根』の大賣出しを始めたるが風味の佳良なると色合の純白なるため非常に好評を博し京城料理店、紳士の家庭よりの注文引も切らずと尙最上醬油クシタカも景品付賣出中なり

▲支那亡命客演說 在東京の支那の亡命客は盛に帝政反對の演[illegible]

▲[illegible]を憤慨す [illegible]據れば巴爾幹の敗戰に就て聯合國は[illegible]英軍人の腑甲斐なきに憤慨すと

▲後場の大商戰 [illegible]は旅費は勿論金二圓の謝禮をなすと語り讀者をして苦笑禁ずる能はざら[illegible]

▲本日の現物界 [illegible]

[illegible]精は靜岡縣靜岡市[illegible]の夫土木請負業者熊谷某と大[illegible]い女と見え十二月六日午後五時頃[illegible]行つて旅費とお金を貰ふものはなきやと販町の評判なり

[illegible]ひ步行全く不可能となりたるも親族知己なく治療救護の途無きに付き[illegible]『妾は慈惠院なぞの病室に入れられて御情に預る理由はない』[illegible]同女の看護を厭ひて右の如き申立をなしたる事判明し其の筋より大目玉を頂戴したり

高麗人三エキスの祝意

二度となき此の機會を失する勿れ

高麗人參エキスの精力增進神經衰弱等に偉大なる效果は服用せられたる幾多の愛用家諸彥に聞け!!

■今般創立三週年記念の爲め弊店特製金牌受領の人參エキスを御買求の方には祝意を表し
■宮內省並に閑院宮殿下御買上の榮を得且つ銀銅牌を受領したる人參糖及び人參錠を
■御買上價格に相當する丈の量を漏れなく進呈致します

今！今!! 期間は來る十二月廿五日迄各一千點限り

エキス價格（廿五匁入 三圓八十錢／八匁入 壹圓六十錢／四匁入 八十五錢）

京城鍾路　井上宜壽堂　電話八番振替八九九番

高麗人三エキスを買へば　買格丈の人蔘糖、人參錠進呈

購買入札
一牛體量器外七點
右購買入札希望ノ者ハ本日以降大正四年總督府官報ヲ見ルベシ
大正四年十二月二十日　警務總監部
◎前日大正四年十二月十二日トアルハ大正四年十二月二十日ノ誤植

開店御披露
恩賜授產江原道物產　木炭大販賣
右木炭は御承知通り先般江原道物產共進會に於て販賣部の好評を得たる木炭を其儘弊店に於て一手販賣特約致し愈々本日より開店廉價を以て大賣出し仕候間多少に不拘御注文願上候
尙石炭も各種御小賣仕候間木炭同樣御用命願上候
京城明治町支那領事館前　木炭　石炭　松本商店　電話三〇四番

御年暮用　御年玉用
新荷物着と年の餅勉强
東京名代田丸屋特製
一福々豆　鑵入及斤賣
一海苔小卷　同
一あげかき餅　同
例年の通り年の餅大勉强
餅專門家　本町一丁目　大和軒

越後物產　地下足袋
防寒用に適し　堅固無比請合

朝鮮一手特約販賣　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店

商況
下關期米
▲後場昂騰す
▲當限受渡高

千生瓢 (76)

須藤南翠作 筒井年峰畫

竜馳(三)

大垣城の大手先は、忽ちにして火の海と化つた。弓鐵砲の足輕より、槍、長刀の卒伍に至るまで、手に手に炬火ふり照して、整然たる陣形を調へ、一令を待つ軍容、一絲紊れざる所、流石に良師訓練の精兵とおもはれた。騎馬武者、物頭、侍大將、旗大將の面々、大率に炬火執らせて嚴として控へてゐる。

やがて闇を劈く嘶の聲聞えて、愛乘大鹿毛は、大玄關に牽き出された。此聲を耳にして、三軍の士氣、俄然として振ひ作る時、羽柴筑前守秀吉は、甲冑に身を堅めて、鞭を手にして立現はれた。傍には加藤、福島、片桐、脇坂、平野、糟屋、加藤孫六等の扈從、勇氣凛然として、附き從ふ。

此時秀吉大玄關の式臺を、鼕々と踏み鳴らし、太刀を拔いて額に當て

『面々悦べ、軍はもはや勝つたぞよ、思ひの外に早かつたわ』と、五六度繰り返して呼はつた。

斯くして徐に太刀を納め、馬引き寄せてうち跨つたが、進まんとする手綱を固く引き締めて、

『茂助を呼べ、堀尾を呼べ』と申し付けた。

召しに應じて面前に進んだ堀尾茂助吉晴、大鹿毛の轡を執つて、

『殿、召させられまいたわ』

『おゝ茂助か、此筑前其方にちと無心がある』

『珍らしい殿の御無心、何なりとと仰せられい、吉晴違背致しませぬ』

『確と左樣か』

『御念までもおざりませぬ』

『早速承知滿足に存ずる。筑前が無心餘の義でない、今日は其方の一命が貰ひたいぢや』

『隨身の初めより差上げた一命、御用とあらば何時でも召させられい、更に御斟酌に及び申さぬ』

吉晴は斯う言つて秀吉の顔を見たが、忽ち莞爾と笑つて、

『事新らしき仰せ、吉晴疾と會得致いておざりまする』と、籠手を擴げて、鎧の胴をはたと打つた。

『會得致いたとあらば、何事も申すまい。當城の留守頼むぞよ』

『御心安く思し召させられ、吉晴御留守仕る上は、御後の事、乾度思案おざりまする』

『此の義は全く一大事ちやぞ』

『畏まりました』と、吉晴は纏面を放して一禮した。

『其方ならでは、首尾よく之を勤める者はない。念入れて致さうぞ』

秀吉は馬上より茂助を視下した。吉晴は下より主將を仰視げる。互ひの瞳子がぴたり、合ふて、少時心の與を語り合つて居た。

吉晴が一揖して退り去ると、秀吉は手綱を捌いて、忽ち急進行軍の命を下した。一萬五千の炬火は、一條の火龍となつて、近江街道を電の如く飛ぶ。

秀吉は大鹿毛に鞭を擧げて、歩卒の脇を駈け拔け、一散に駈け出した。近習外樣の面々も、劣らじと駈け出した。健脚の勇兵どもは、馬に後れじと走せ出した。蹄の音、草鞋の響き、谷に轟き、嶺に谺し、美濃近江の山嶽は、これが爲に震ふかと想はるゝばかりであつた。

既に近江路に入るや、秀吉は先手の者に命じて、沿道の庄屋株、大百姓どもを召し出して、遂一に言はしめた。

『我は羽柴筑前守秀吉なるぞ、はやう面々の藏を開いて、飯を炊かせよ。馬の飼秣は合せ秣にせよ。先手〳〵に持つた米あらば、出して炊せよ。百姓共の米ならば、價は十層倍にして與らさうぞ。炊いた飯が出來たらば容俵を鹽水を浸し、其に詰めて賤ケ嶽へ運べよ。馬の飼秣には、木の枝、紙の片を附けて、見易い處へ置け。後より續く軍勢には、懇ろに迎へ入れて、之を飯でおざる、早々認められいと言へ。包飯にする者には、手拭などに包んで遣れ。急ぎ其用意をせよ。ゆめ〳〵怠るまいぞ』

純粹培養 ヨーグルト
模範 牛乳
場主 獸醫 肥塚正太
京城遊樂町四 東亞牧場 (電話五二番)

鐵砲は横濱の金丸銃砲店に限る
(御望みの銃砲名例へば獵銃とかピストルとか空氣銃とか其他々夫々御記入御申込になれば定價表郵呈)

京日案內

◎普通 (一行前金三十五錢(無割引) 名一回毎に金五錢増)

◎清酒一升に付米一升御添へ致し升 是非一度御來店下さい歳末迄延期 京城黃金町遊廓前 坂本酒店 184

◎好職有り 至急男女募集す 活動家は來れ 南山町二丁目大和屋方△牧田 185

◎貸金 月收の御方へ小口信用秘密融通御一報次第伺上候 京城大和町三(不老湯橫丁)◎起木屋 182

◎男女募集 年末無爲に困しむ者は來れ即日より收入ある好業授く◎佛國教會下通り△不老湯 175

◎店員募集 齡十八歳より廿五歳迄の者市內に確實身元保證人要す ▲京城龍山漢町▲中島商店 178

◎古本なら野村 買入誠實御報參上 京城本町一丁目(明治町筋) 野村書店 電話二六三六番 112

◎看護婦二名見習數名至急募集す希望者來談あれ (姓名) 仁川京日支局 173

◎番外 (一行前金六十錢(無割引) 名一回毎に金九錢増)

內科 兒科 專門 胃腸 呼吸器 病 京城本町二丁目 元中島病院跡 (入院隨意) 山田醫院 電話二八〇番 81

開始 人力車帳場 ◎入夫請負引越荷物其他御依賴に應ず 京城永樂町二 電話二六八九 岡本組 164

皮膚病 花柳病 專門 永樂町一丁目商品陳列館坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 90

◎得意廻員至急入用 廿歳以上廿四歳迄市內確實保證人二名要す履歷書携帶本人來談に限る 大平通▲遠藤味噌醬油小賣部 183

◎寫眞 年賀用 意匠高尚肖像畫 寫眞焚書入十二枚壹圓 し翌渡し地方御注文は御持合寫眞一葉前金添へ被送度し但井口迄で 南大門通三 電話一〇四〇 京城寫眞館 180

忠州 行牛車貨物取扱開始仕候 到着迅速運賃低廉確實取扱候 京城鍾路五丁目 ◎振替三三八九◎電話三三九一番 酒井運送店 179

恩給 御時立替低利手數料極安 方通信取引債務附證書引受 京城若草町百六番地 電話二二六三番 勸業債券 貯蓄 御不用分高價買受 西村商會 102

產婆 塙富美 南米倉町百六十四番(ゑびす湯隣) ハナツ 電話二五五四番 119

◎はねつき うちみ くじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 127

◎家具全般 ◎歳暮景品 付賣出 一圓御買上に對し籤一本 ▲一等より十一等迄一本も穴籤なし 本町三丁目 電話三三五 橋本塗物家具店 155

○龍山元町二丁目(電話一七番) 鶴崎流 琵琶 眼鏡復泉 演奏應需 ○京城旭町二丁目六番地 161

贈答品 味のよい 玄武燒栗 市內遞送◎くり券を發行いたします 京城旭町一丁目 元祖 玄武堂 電話取次一五七二 163

年の餅 例年の通ちんつき出張 內搗も致します 元祖 桃太郎饅頭 本舖 米倉軒 京城北米倉町 支店所在 明治町通 米倉軒支店 166

◎在鮮在滿諸君無爲無職を歎ずる勿れ本部は小資本にて必成功し得る新事業を提供す見本材料送料實費一圓送附せよ直に見本送る○京城府峴洞一九六 電話一八二〇番△新文社事業部 172

◎外交員入用 中學卒業以上丈夫の者を求む 筆素要有卅歳以上 希望者は履歷書携帶至急來談あれ但し午前九時より十二時迄 ○京城旭町二丁目▲不知火旅館方 174

株式會社漢城銀行開城支店登記事項中左ノ通變更 東京出張所所在地 京畿道高陽郡龍江面東幕上里參統參戶 右大正四年十二月十七日登記 京城地方法院開城支廳

新刊書御案內

書名	著者	價
◎朝鮮法令輯覽		九〇〇
◎大日本國語辭典 上中巻	上田 松井	特五〇〇
◎修正增補漢和大辭典	重野外二名 クロース	三〇〇
◎新選圍碁全集		一〇〇
◎宇宙縮冊解說	三宅雄次郎	一五〇
◎豪俠傳二卷	伊藤痴遊	九〇
◎西遊スケッチ	和田垣謙三	一二〇
◎未だ見ぬ親	紫川	一〇〇
◎銀と藍	日向きむ	八五
◎文壇奧太物語	高山辰三	六〇
◎新作御伽學校	少年文學會	六〇
◎金剛草	漱石	一二〇
◎新英文解釋研究	山崎貞	七〇
◎簡易製鐵術	向井哲	一三〇
◎土木工學上卷	口外五名	二五〇
◎俳諧日記	俳書堂	五〇
◎短歌日記	東雲堂	四〇
◎俳句日記	東雲堂	四〇
◎文章日記	新潮社	六〇
◎標準かるた	讀取撰	八〇
◎同讀取兼練習用	東京かるた會	六〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七三

初版賣切れ再版大增補發賣

朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著 定價金八拾錢(郵税六錢)

朝鮮語會話

●受驗者必携の好資料 ●袖珍總クロース四百頁頗美本

江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や初版壹萬部を賣盡して尙要求盛んなるに付改訂大增補を行ひ再版を發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ

發行所 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

ライオン齒磨の

粉末は 最も微細なるを以て幾度使用するも琺瑯質を害することなし。

配劑は 最も合理的なるを以て清掃、殺菌、防腐、收斂の諸効に富む。

價格は 最も低廉なるを以て、日用品の本質を備へ、國民衞生と相合致す。

ライオン齒磨!!!

ライオン齒磨 ライオン石鹼 本舖 小林商店

(31—1)

▽色白くキメ細かに美しき顔となるホーカー液は肌のアレを防ぎ皮膚を白羽二重の如く麗はしくする東京で一番よく賣れる化粧料也

美人となるホーカー液